

## V. 在宅介護実態調査結果

### 1. 概況等

#### ① 調査対象者の属性

令和元年度調査と比較し、性別、介護者と本人との関係、介護者の年齢に大きな差はない。  
本人の年齢では90歳以上が低く、世帯では単身世帯が高くなっている。

図表 234 【性別・年齢・介護者本人との関係・介護者年齢・世帯】

(%)

性別	(n)	男性	女性	回答しない	無回答
今回調査	514	34.8	65.2	-	0.0
令和元年度調査	341	32.0	68.0	-	0.0

(%)

年齢	(n)	60歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	無回答
今回調査	514	3.3	3.1	8.9	12.1	21.2	30.0	15.8	0.0
令和元年度調査	341	1.5	2.9	7.6	15.2	23.2	24.9	24.7	0.0

(%)

介護者と本人との関係	(n)	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
今回調査	433	29.1	55.2	8.1	1.2	3.2	3.2	0.0
令和元年度調査	296	31.8	51.4	10.8	1.0	2.4	2.4	0.3

(%)

介護者の年齢	(n)	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
今回調査	433	0.2	0.2	1.4	8.5	33.0	22.9	18.2	13.9	1.6	0.0
令和元年度調査	296	0.3	0.7	2.0	7.1	24.3	29.4	19.9	15.5	0.0	0.7

(%)

世帯	(n)	単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	無回答
今回調査	519	28.7	23.9	47.0	0.4
令和元年度調査	341	20.2	23.5	56.3	0.0

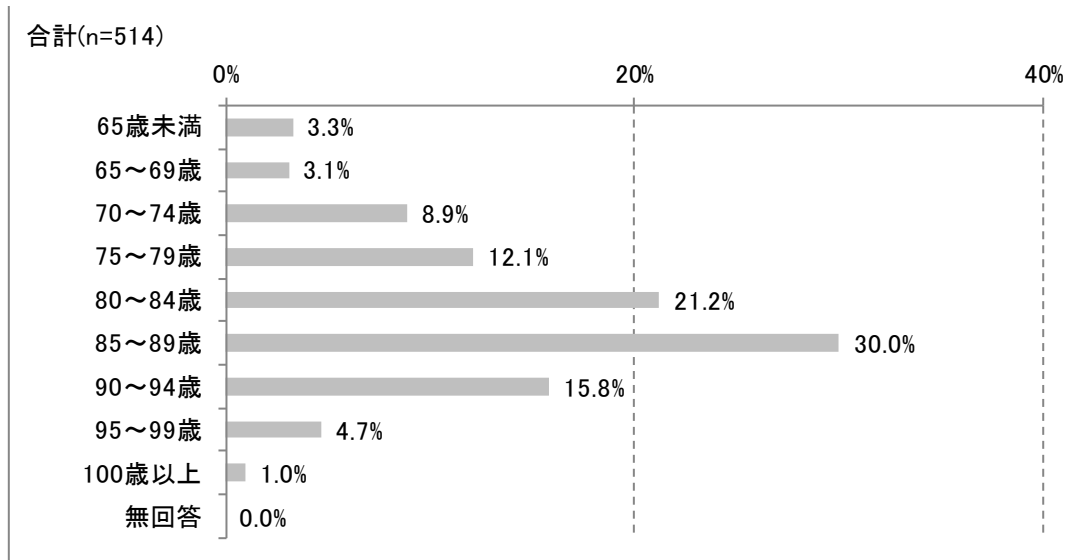
## V 在宅介護実態調査結果

### ② 要介護者本人の基礎データ

#### ・ 年齢構成

調査対象者の年齢は、「85～89歳」の割合が最も高く30.0%、次いで、「80～84歳（21.2%）」、「90～94歳（15.8%）」となっている。

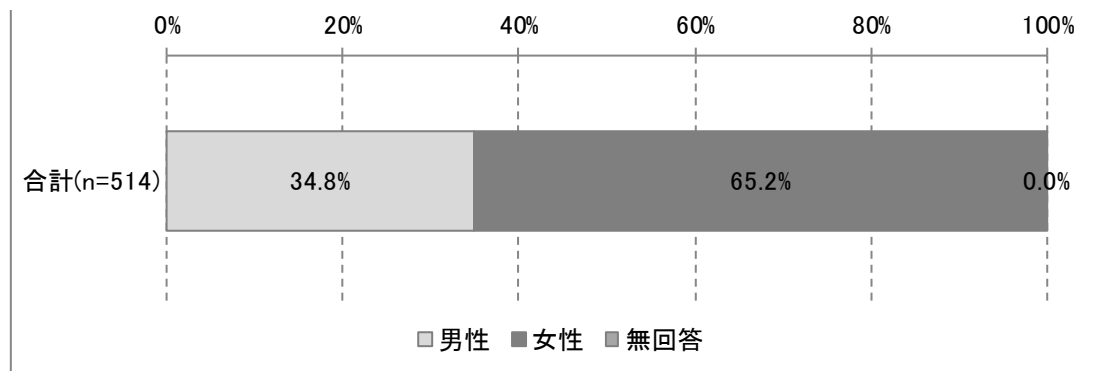
図表 235 【年齢構成】



#### ・ 性別

調査対象者の性別は、「女性」の割合が65.2%、「男性」の割合が34.8%となっている。

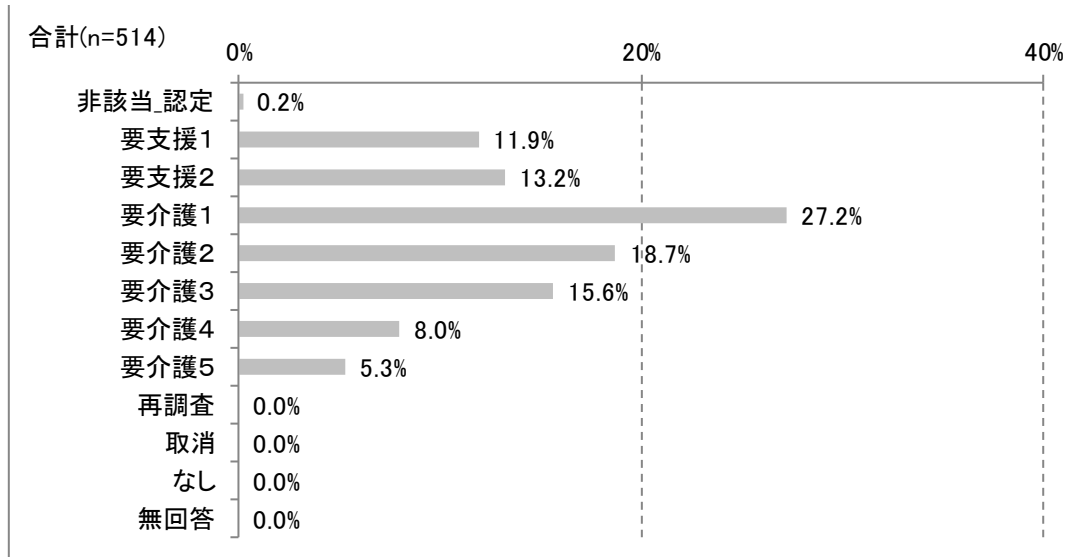
図表 236 【性別】



・ 要介護度（二次判定結果）

調査対象者の要介護度（二次判定結果）は、「要介護1」の割合が最も高く27.2%、次いで「要介護2（18.7%）」、「要介護3（15.6%）」となっている。

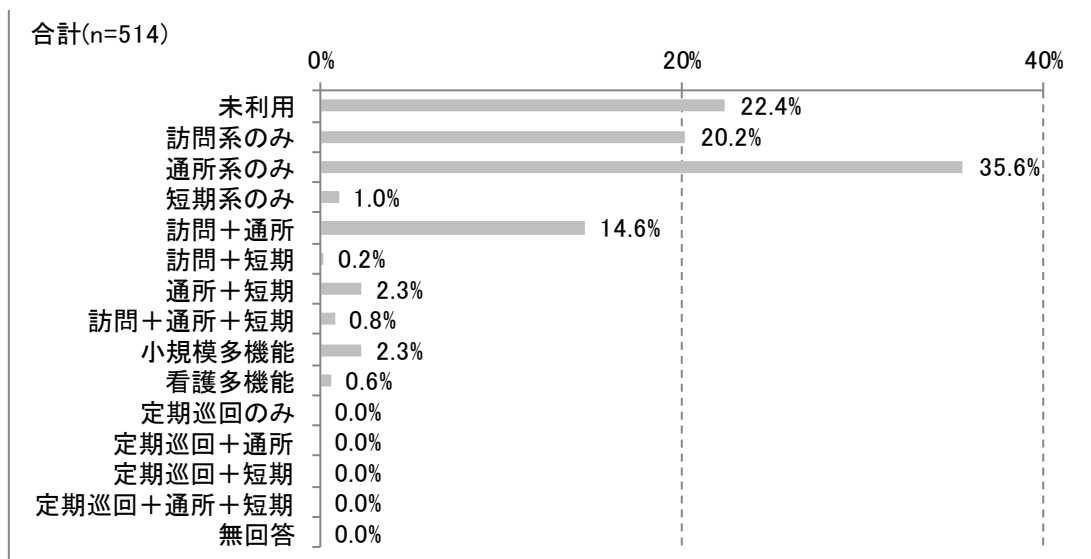
図表 237 【要介護度（二次判定結果）】



・ サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせは、「通所系のみ」の割合が最も高く35.6%、次いで「未利用（22.4%）」、「訪問系のみ（20.2%）」となっている。

図表 238 【サービス利用の組み合わせ】

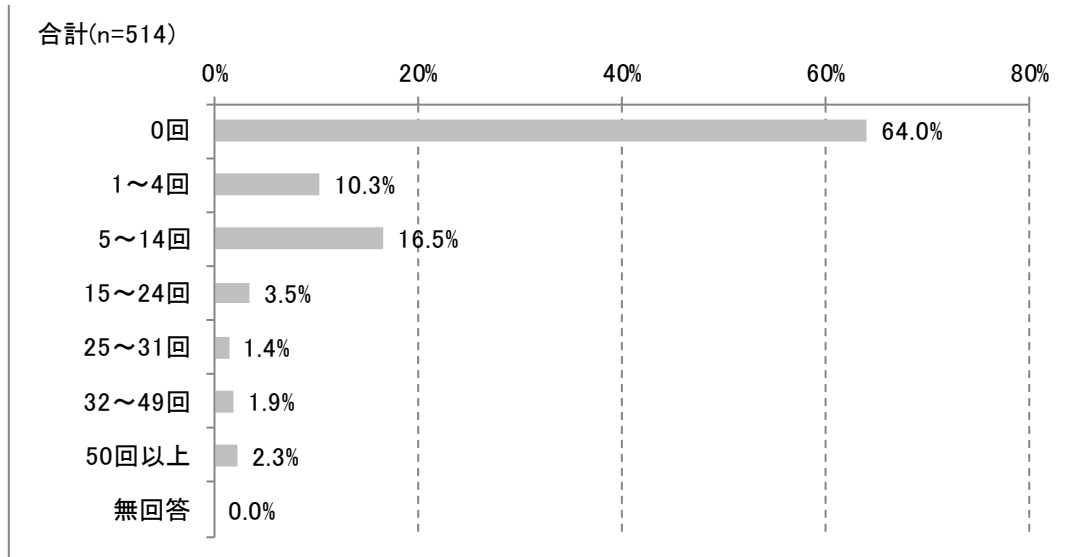


## V 在宅介護実態調査結果

### ・ 訪問系サービス利用回数

1か月あたりの訪問系サービス利用回数は、「0回」の割合が最も高く64.0%、次いで「5～14回（16.5%）」、「1～4回（10.3%）」となっている。

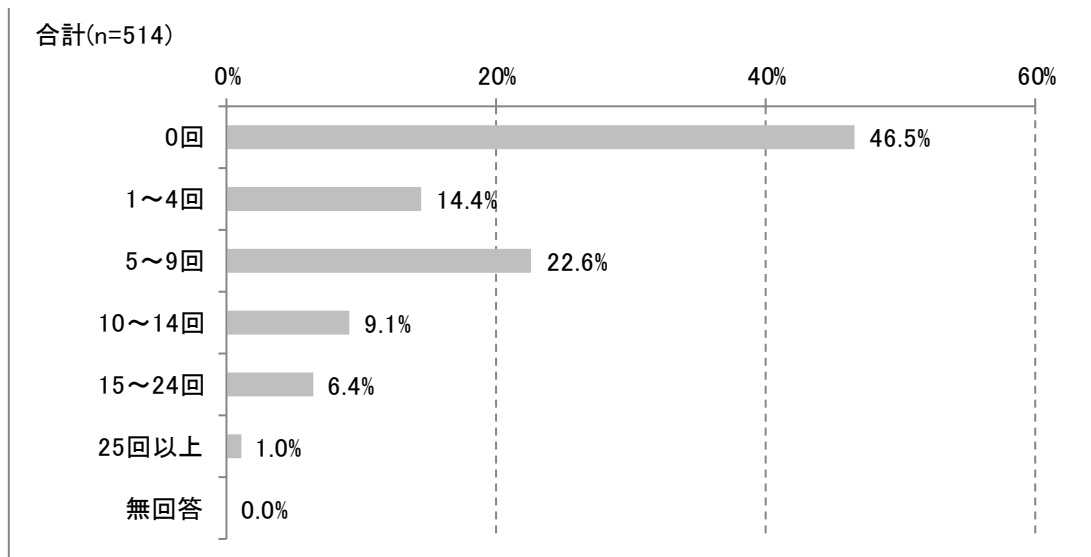
図表 239 【訪問系サービス利用回数】



### ・ 通所系サービス利用回数

1か月あたりの通所系サービス利用回数は、「0回」の割合が最も高く46.5%、次いで「5～9回（22.6%）」、「1～4回（14.4%）」となっている。

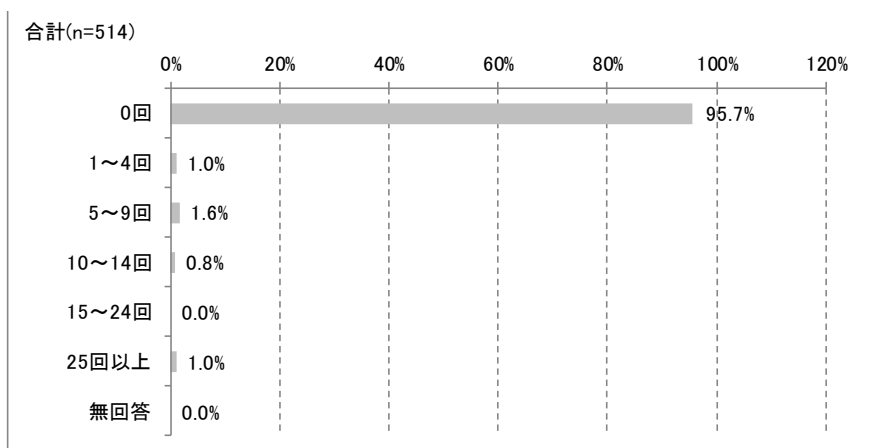
図表 240 【通所系サービス利用回数】



・ 短期系サービス利用回数

1か月あたりの短期系サービス利用回数は、「0回」の割合が最も高く95.7%、次いで「5～9回(1.6%)」、「1～4回(1.0%)」、「25回以上(1.0%)」となっている。

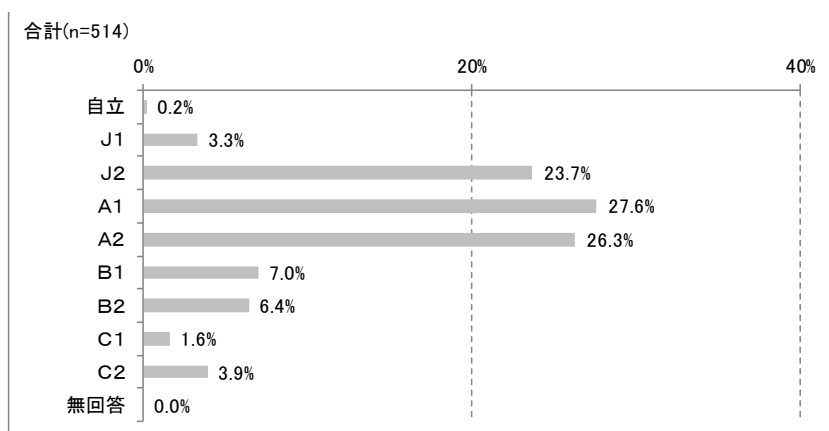
図表 241 【短期系サービス利用回数】



・ 障害高齢者の日常生活自立度

障害高齢者の日常生活自立度は、「A 1」の割合が最も高く27.6%、次いで「A 2(26.3%)」、「J 2(23.7%)」となっている。

図表 242 【障害高齢者の日常生活自立度】



(参考) 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準

生活自立	ランクJ	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1 交通機関等を利用して外出する 2 隣近所なら外出する
準寝たきり	ランクA	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない 1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランクB	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ 1 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2 介助により車いすに移乗する
	ランクC	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する 1 自力で寝返りをうつ 2 自力では寝返りもうてない

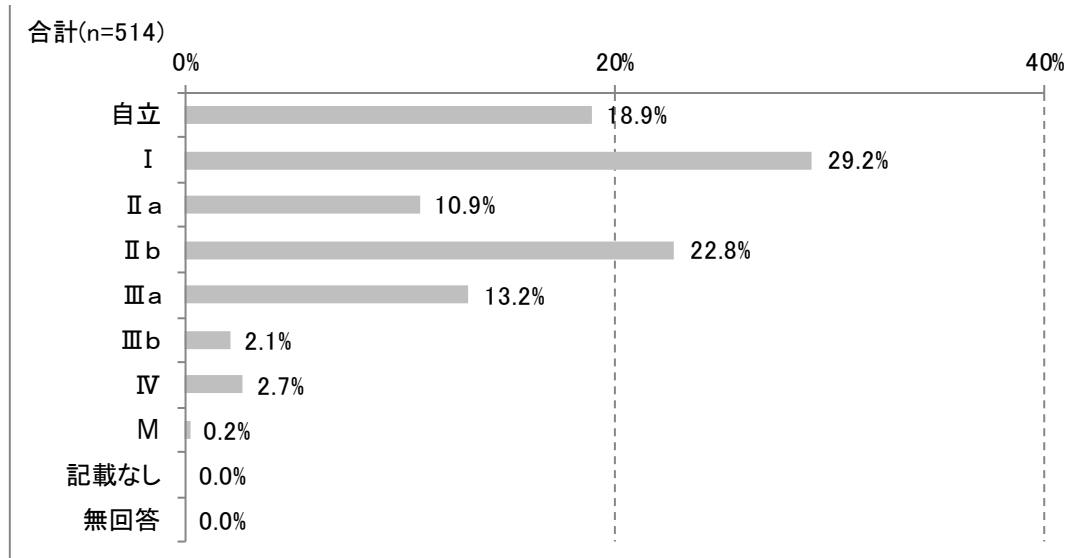
出典：厚生労働省・認定調査員テキスト 2009改訂版(平成30年4月改訂)

## V 在宅介護実態調査結果

### ・ 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度は、「I」の割合が最も高く 29.2%、次いで、「II b (22.8%)」、「自立 (18.9%)」となっている。

図表 243 【認知症高齢者の日常生活自立度】



### (参考) 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準

ランク	判定基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
	II a 家庭外で上記 II の状態が見られる。	たびたび道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
	II b 家庭内でも上記 II の状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応などひとりで留守番ができない等
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。	
	III a 日中を中心として上記 III の状態が見られる。	着替え、食事、排便・排尿が上手にできない・時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声を上げる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
	III b 夜間を中心として上記 III の状態が見られる。	ランク III a に同じ
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランク III に同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

出典：厚生労働省・認定調査員テキスト 2009 改訂版（平成 30 年 4 月改訂）

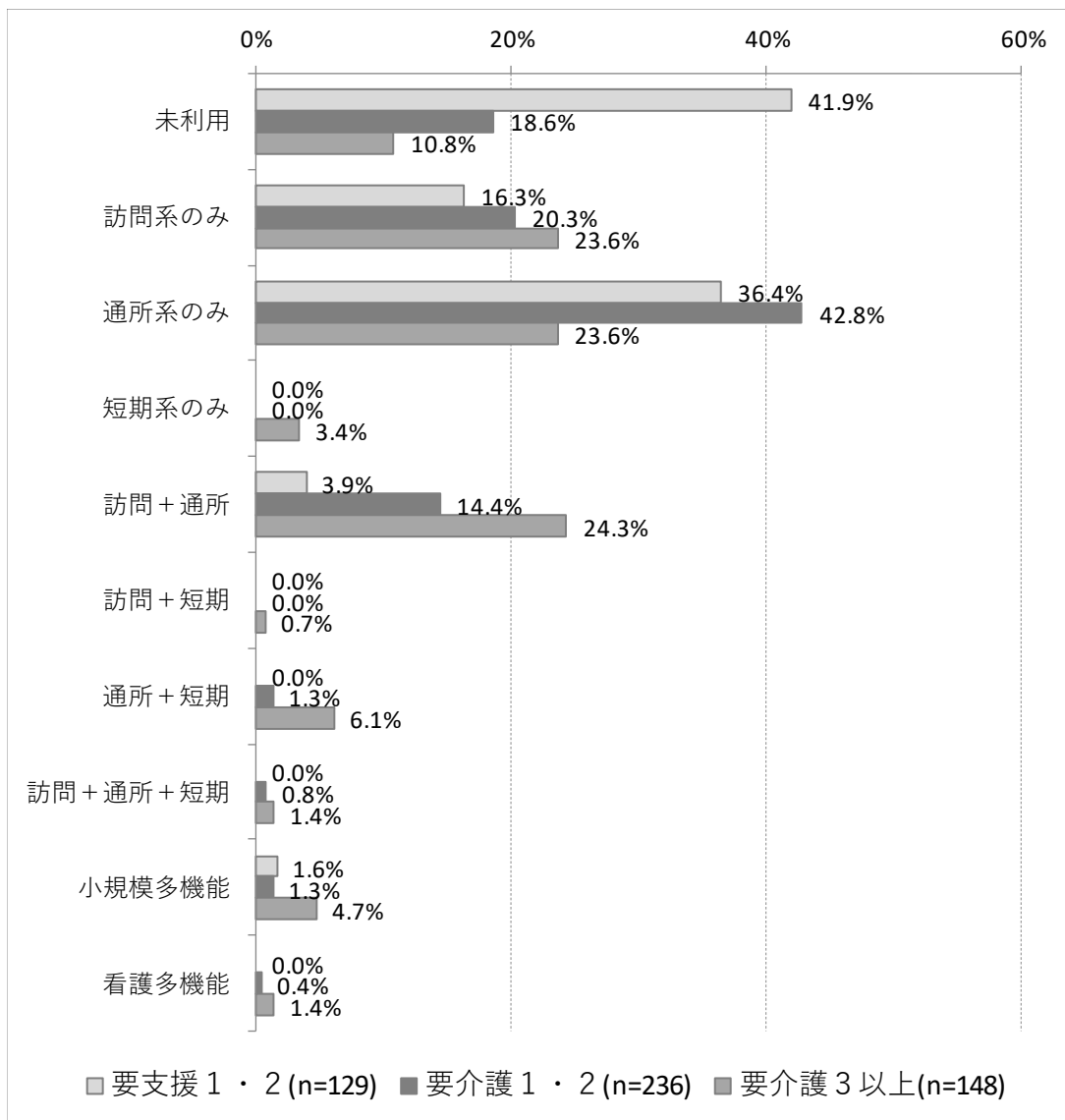
・ サービス利用の組み合わせ

要介護度別にサービス利用の組み合わせをみると、「要支援1・2」では「未利用」が41.9%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が36.4%、「訪問系のみ」が16.3%となっている。

「要介護1・2」では「通所系のみ」が42.8%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が20.3%、「未利用」が18.6%となっている。

「要介護3以上」では「訪問+通所」が24.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「通所系のみ」が23.6%、「未利用」が10.8%となっている。

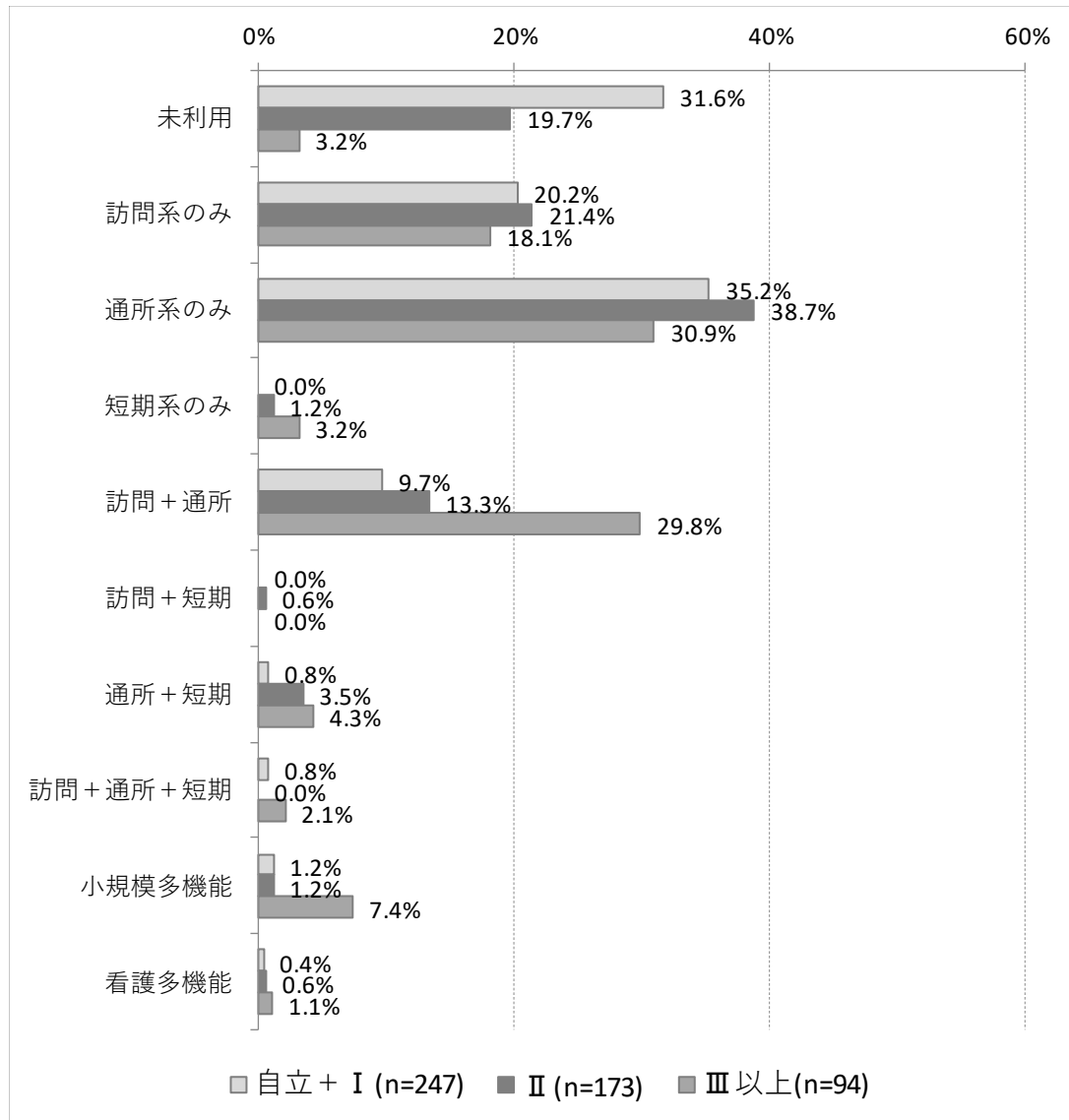
図表 244 【要介護度別 サービス利用の組み合わせ】



## V 在宅介護実態調査結果

認知症自立度別にサービス利用の組み合わせをみると、いずれも「通所系のみ」が最も高くなっている。次いで「自立+Ⅰ」で「未利用」が、「Ⅱ」では「訪問系のみ」が、「Ⅲ以上」では「訪問+通所」が高い。

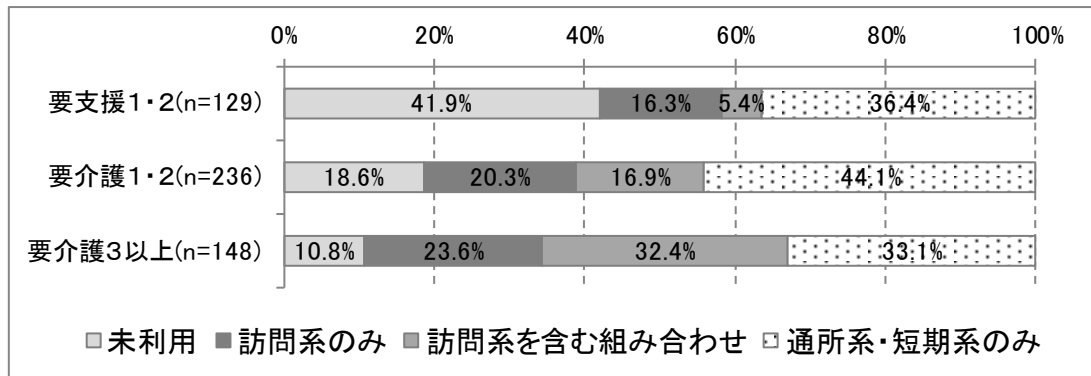
図表 245 【認知症自立度別 サービス利用の組み合わせ】





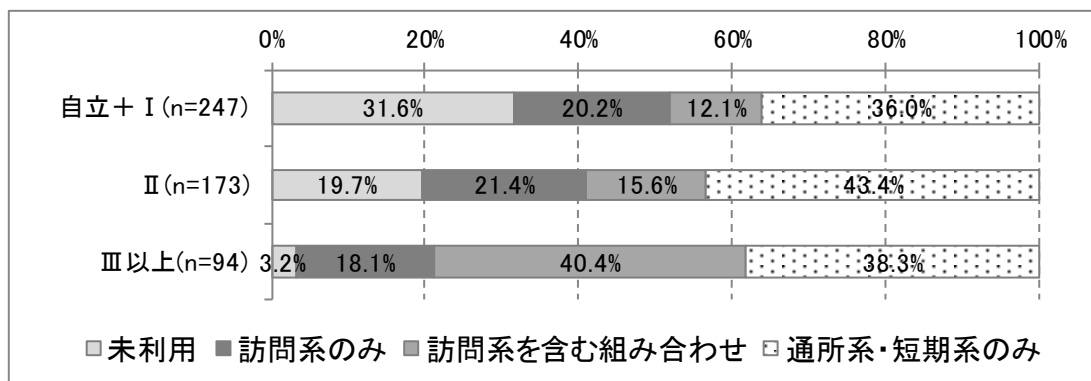
要介護度別にサービス利用の組み合わせをみると、「要支援1・2」では「未利用」が最も割合が高く、「要介護1・2」「要介護3以上」では「通所系・短期系のみ」が最も割合が高い。

図表 246 【要介護度別 サービス利用の組み合わせ】



認知症自立度別にサービス利用の組み合わせをみると、「自立+1」「Ⅱ」は「通所系・短期系のみ」が最も割合が高く、「Ⅲ以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が最も割合が高い。

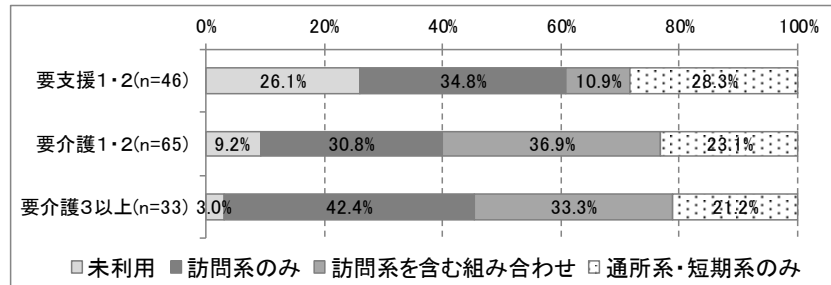
図表 247 【認知症自立度別 サービス利用の組み合わせ】



## V 在宅介護実態調査結果

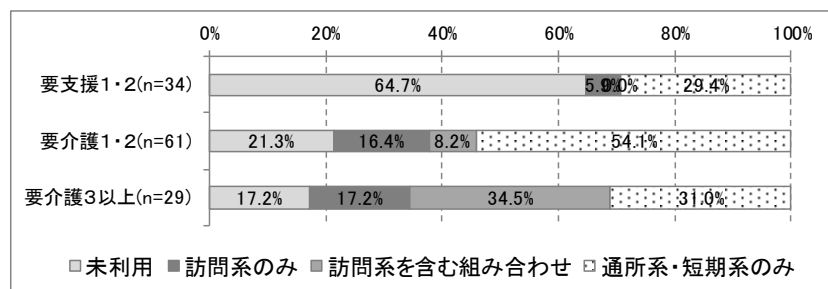
「単身世帯」の要介護度別にサービス利用の組み合わせをみると、「要支援1・2」「要介護3以上」は「訪問系のみ」が最も割合が高く、「要介護1・2」では「訪問系を含む組み合わせ」が最も割合が高い。

図表 248 【単身世帯のみ・要介護度別 サービス利用の組み合わせ】



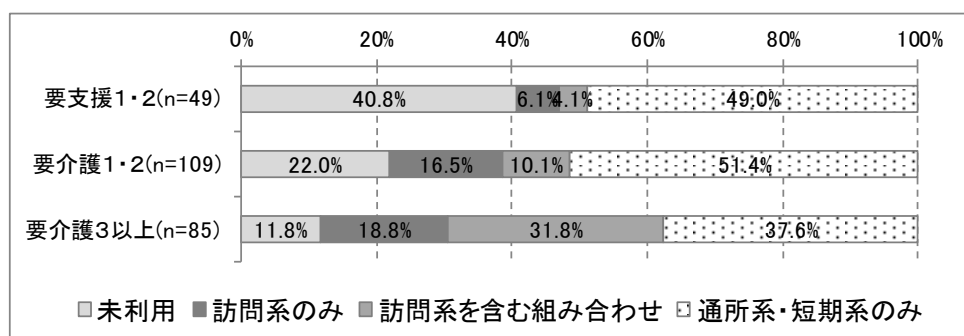
「夫婦のみ世帯」の要介護度別にサービス利用の組み合わせをみると、「要支援1・2」では「未利用」が、「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が、「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」がそれぞれ最も割合が高い。

図表 249 【夫婦のみ世帯・要介護度別 サービス利用の組み合わせ】



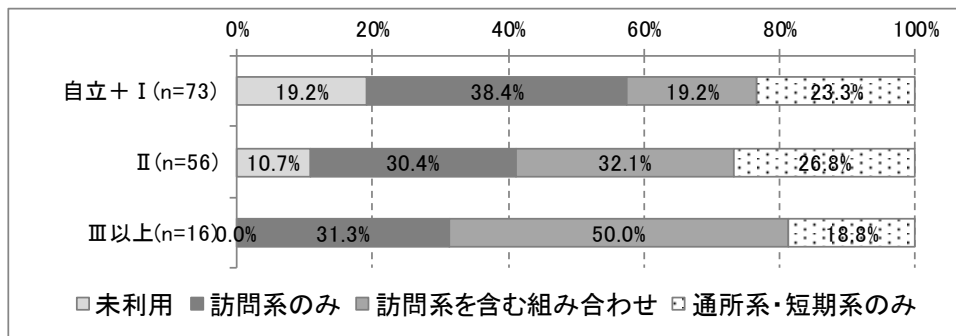
「その他世帯」の要介護度別にサービス利用の組み合わせをみると、いずれも「通所系・短期系のみ」の割合が最も高い。

図表 250 【その他世帯・要介護度別 サービス利用の組み合わせ】



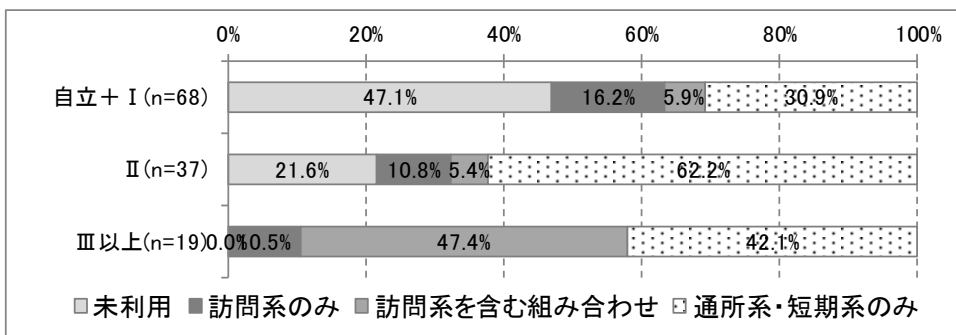
「単身世帯」の認知症自立度別にサービス利用の組み合わせをみると、「自立+ I」は「訪問系のみ」が最も割合が高く、「II」「III以上」は「訪問系を含む組み合わせ」が最も割合が高い。

図表 251 【単身世帯のみ・認知症自立度別 サービス利用の組み合わせ】



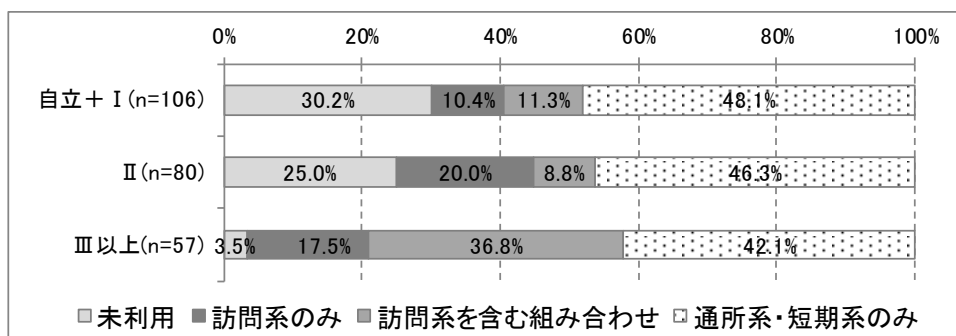
「夫婦のみ世帯」の認知症自立度別にサービス利用の組み合わせをみると、「自立+ I」では「未利用」が、「II」では「通所系・短期系のみ」が、「III以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が最も割合が高い。

図表 252 【夫婦のみ世帯・認知症自立度別 サービス利用の組み合わせ】



「その他世帯」の認知症自立度別にサービス利用の組み合わせをみると、いずれも「通所系・短期系のみ」の割合が最も高い。

図表 253 【その他世帯・認知症自立度別 サービス利用の組み合わせ】



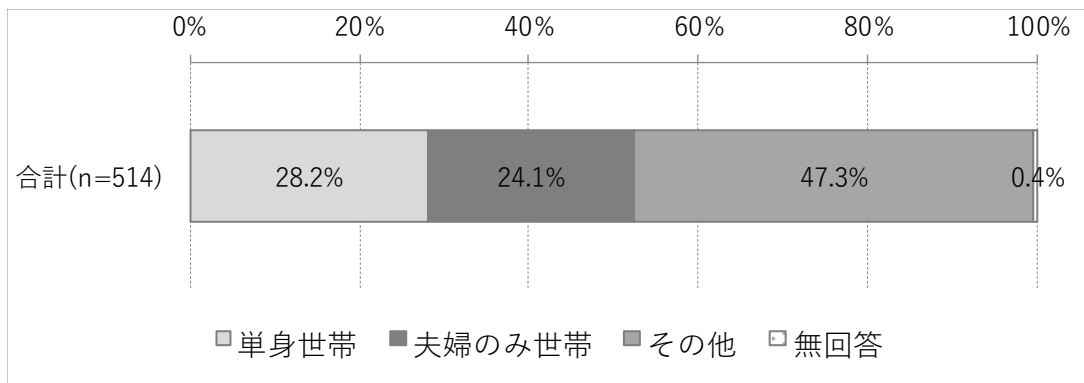
## 2. 各設問の結果

### ① 要介護者本人の属性

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つに○）。

世帯類型は「単身世帯」が 28.2%、「夫婦のみ世帯」が 24.1%、「その他世帯」が 47.3%となっている。

図表 254 【世帯類型】

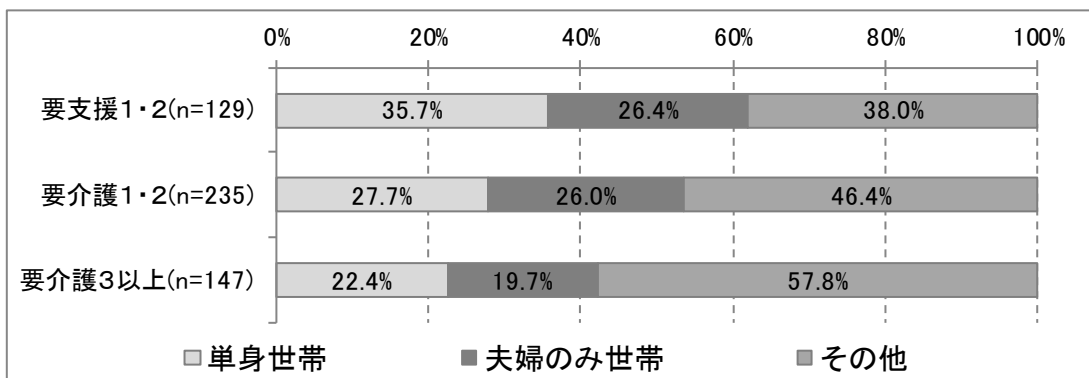


要介護度別に世帯類型をみると「要支援1・2」では「単身世帯」が 35.7%、「夫婦のみ世帯」が 26.4%、「その他世帯」が 38.0%となっている。

「要介護1・2」では「単身世帯」が 27.7%、「夫婦のみ世帯」が 26.0%、「その他世帯」が 46.4%となっている。

「要介護3以上」では「単身世帯」が 22.4%、「夫婦のみ世帯」が 19.7%、「その他世帯」が 57.8%となっている。

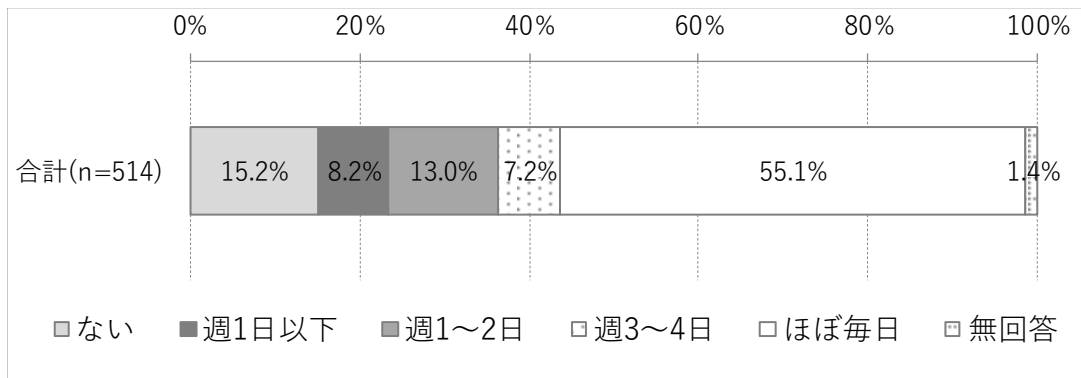
図表 255 【要介護度別 世帯類型】



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つに○）。

家族等による介護の頻度は、「ほぼ毎日」の割合が最も高く 55.1%、次いで「ない（15.2%）」、「週1～2日（13.0%）」となっている。

図表 256 【家族等による介護の頻度】

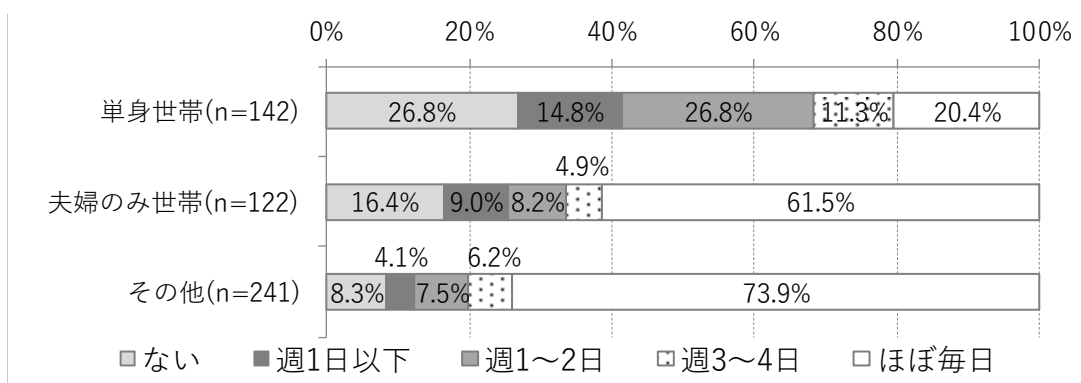


世帯類型別に家族等による介護の頻度をみると、「単身世帯」では「週1～2日」「ない」がともに26.8%と最も割合が高く、「ほぼ毎日」が20.4%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「ほぼ毎日」が61.5%と最も割合が高く、次いで「ない」が16.4%、「週1日以下」が9.0%となっている。

「その他」では「ほぼ毎日」が73.9%と最も割合が高く、次いで「ない」が8.3%、「週1～2日」が7.5%となっている。

図表 257 【世帯類型別 家族等による介護の頻度】



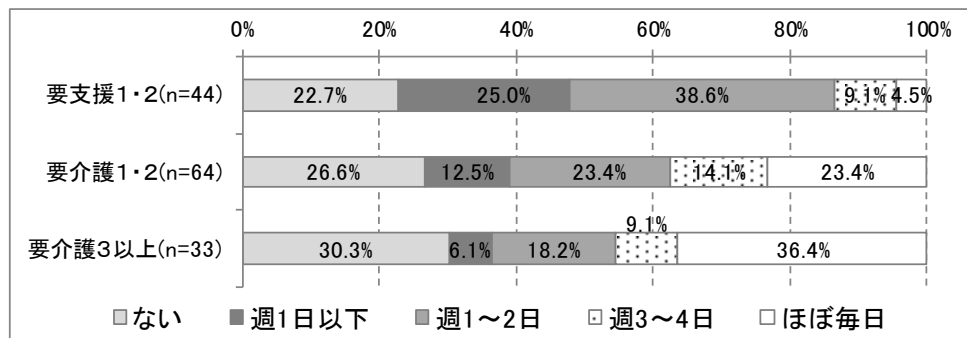
## V 在宅介護実態調査結果

「単身世帯」の要介護度別に家族等による介護の頻度をみると、「要支援1・2」では「週1～2日」が38.6%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」が25.0%となっている。

「要介護1・2」では「ない」が26.6%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」、「ほぼ毎日」が23.4%となっている。

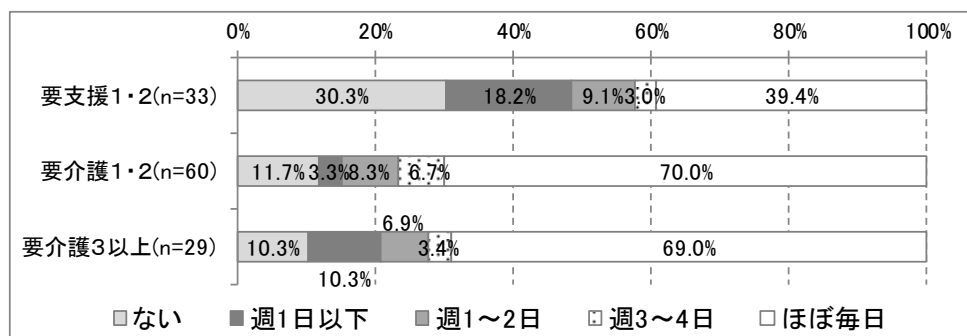
「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が36.4%と最も割合が高く、次いで「ない」が30.3%となっている。

図表 258 【単身世帯・要介護度別 家族等による介護の頻度】



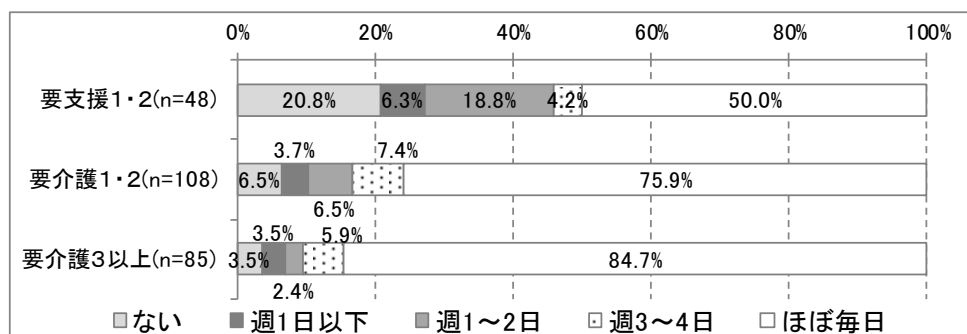
「夫婦のみ世帯」の要介護度別に家族等による介護の頻度をみると、いずれも「ほぼ毎日」が最も割合が高く、次いで「ない」となっている。

図表 259 【夫婦のみ世帯・要介護度別 家族等による介護の頻度】



「その他世帯」の要介護度別に家族等による介護の頻度をみると、いずれも「ほぼ毎日」が最も割合が高く、次いで「要支援1・2」では「ない」、「要介護1・2」「要介護3以上」では「週3～4日」がそれぞれ高い。

図表 260 【その他世帯・要介護度別 家族等による介護の頻度】

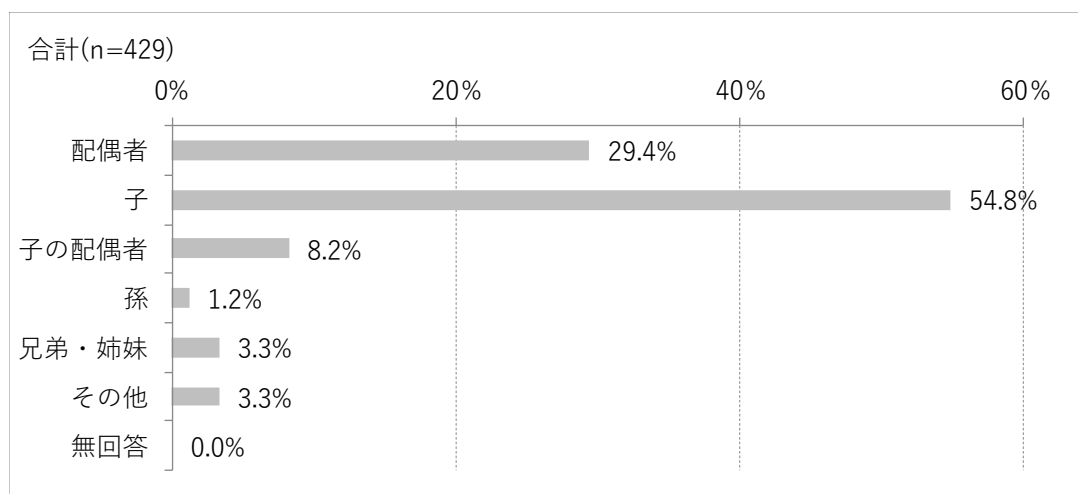


## ② 主な介護者が行っている介護

問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つに○）。

主な介護者の本人との関係は、「子」の割合が最も高く 54.8%、次いで「配偶者（29.4%）」、「子の配偶者（8.2%）」となっている。

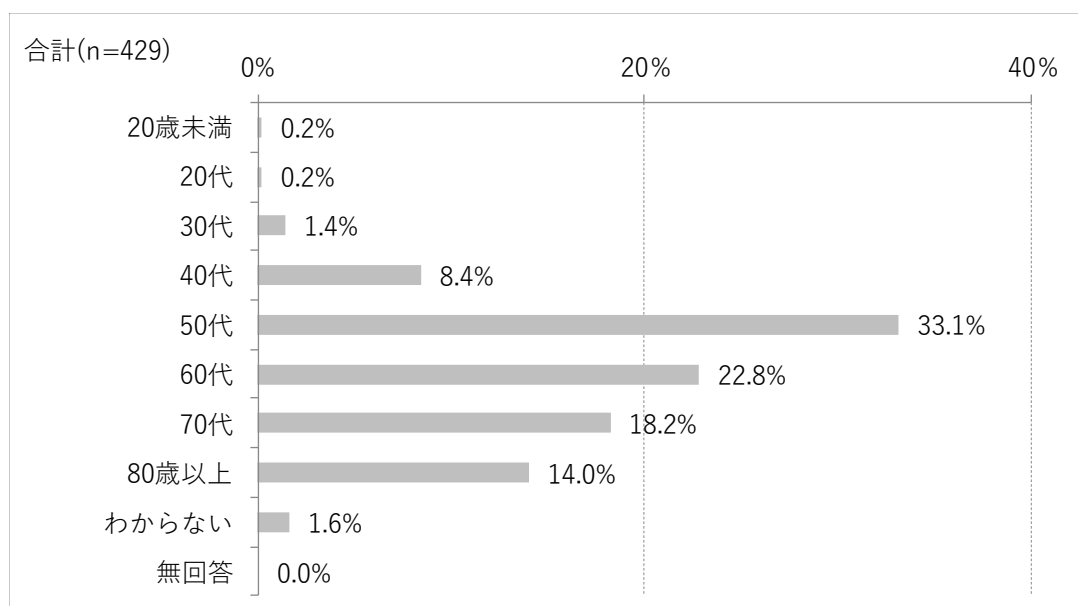
図表 261 【主な介護者の本人との関係】



問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つに○）。

主な介護者の年齢は、「50代」の割合が最も高く 33.1%、次いで「60代（22.8%）」、「70代（18.2%）」となっている。

図表 262 【主な介護者の方の年齢】

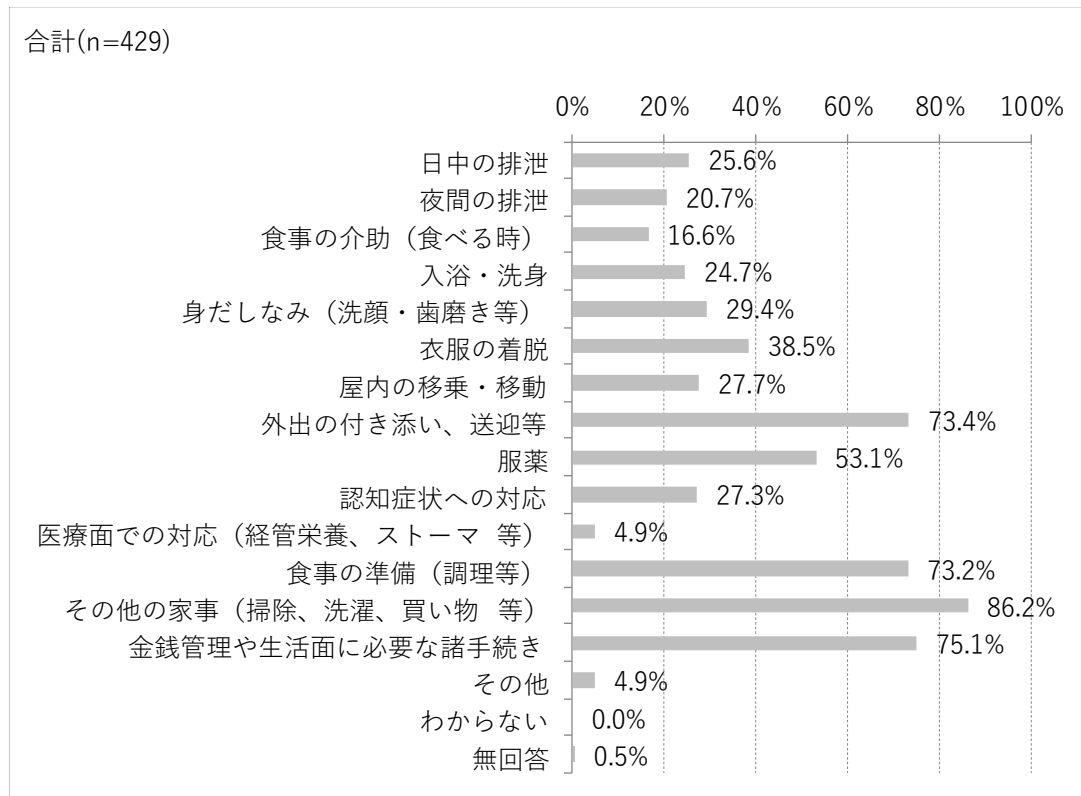


## V 在宅介護実態調査結果

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）。

主な介護者が行っている介護は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が最も高く86.2%となっている。次いで、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（75.1%）」、「外出の付き添い、送迎等（73.4%）」となっている。

図表 263 【主な介護者が行っている介護】

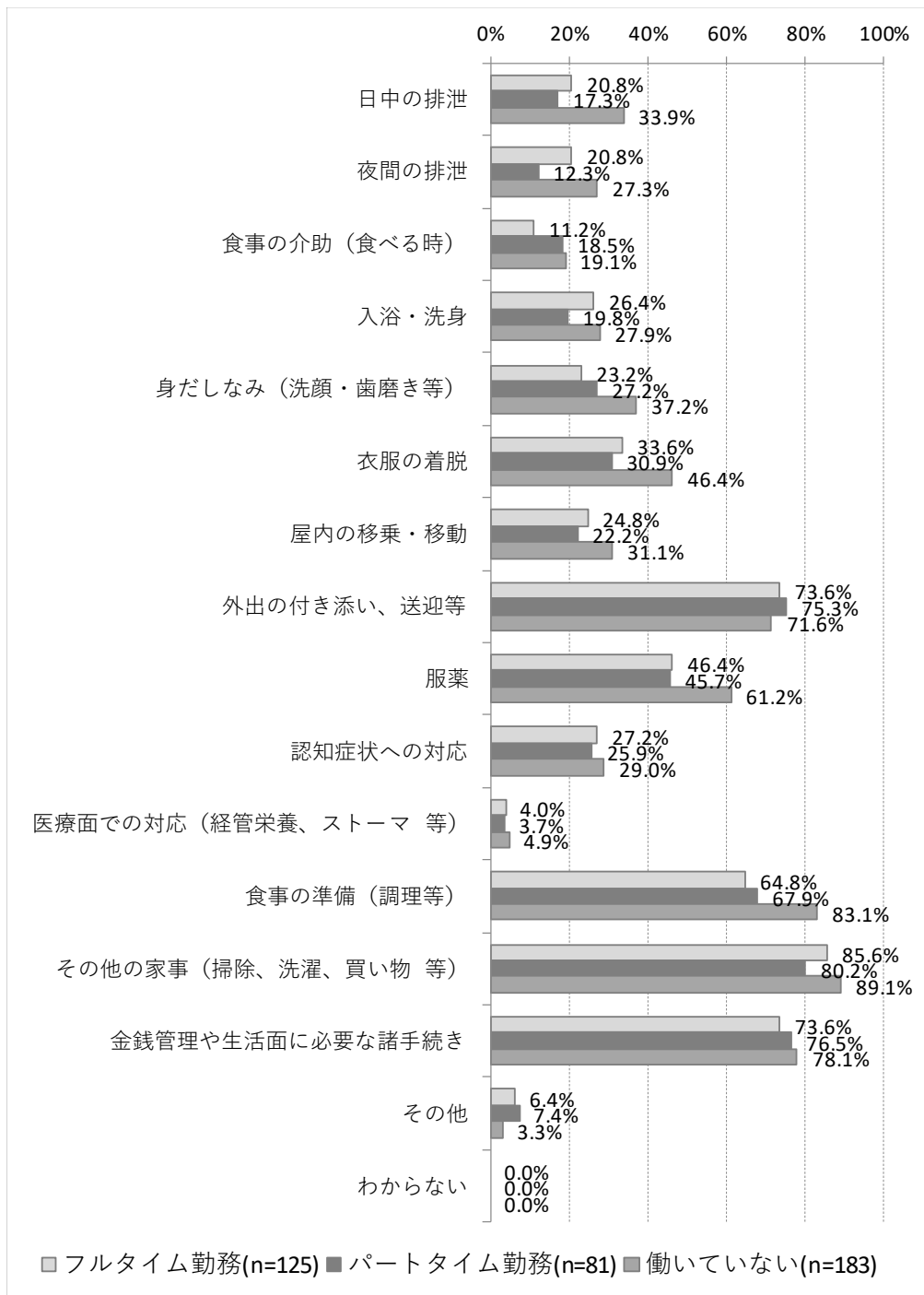




就労状況別に主な介護者が行っている介護をみると、「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」「働いていない」で「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も割合が高かった。

次いで「フルタイム勤務」では「外出の付き添い、送迎等」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が、「パートタイム勤務」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が、「働いていない」では「食事の準備（調理等）」が高かった。

図表 264 【就労状況別 主な介護者が行っている介護】



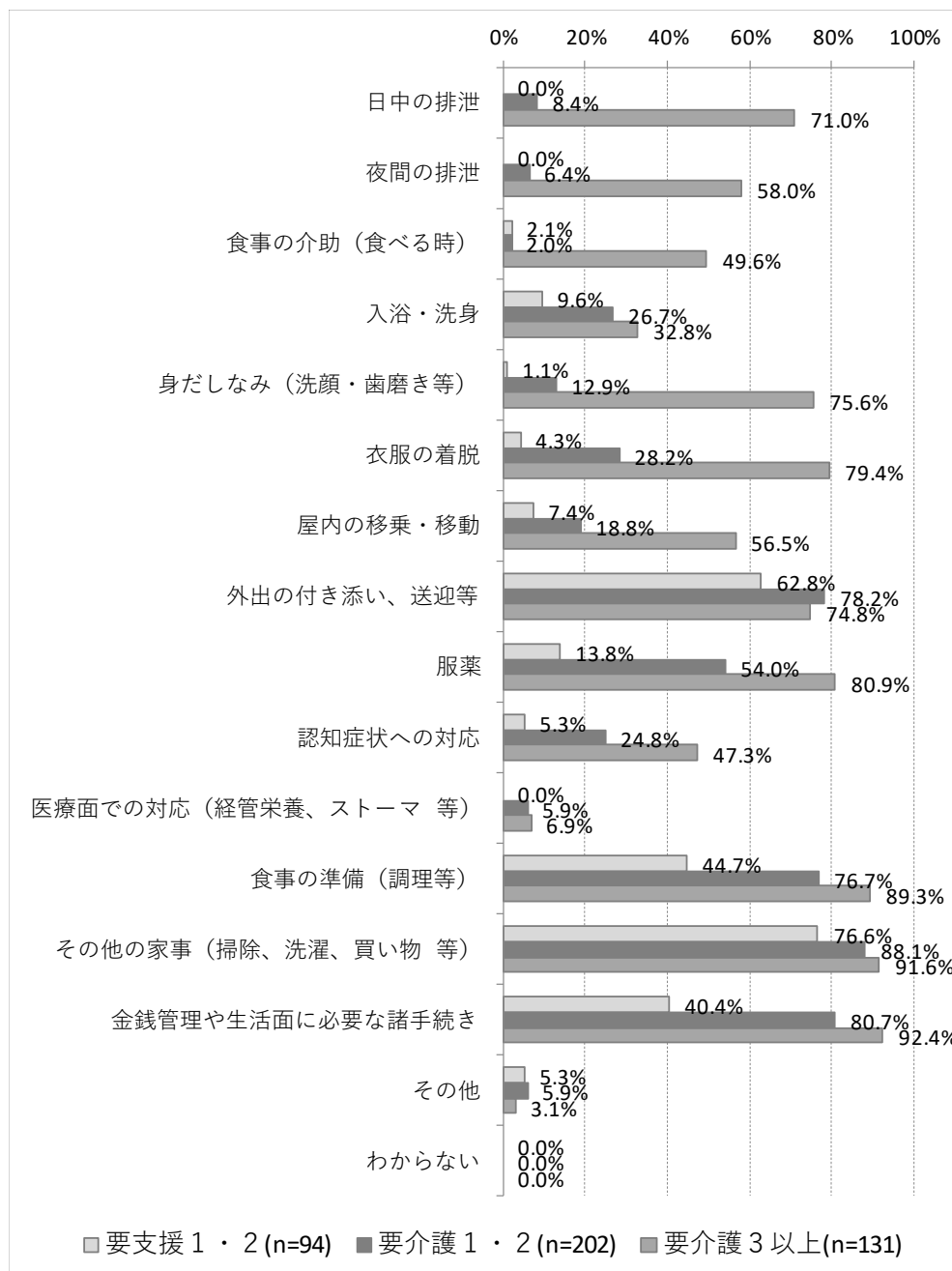
## V 在宅介護実態調査結果

本人の要介護度別に主な介護者が行っている介護をみると、「要支援1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が76.6%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が62.8%となっている。

「要介護1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が88.1%と最も割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が80.7%となっている。

「要介護3以上」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が92.4%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が91.6%となっている。

図表 265 【要介護別 主な介護者が行っている介護】

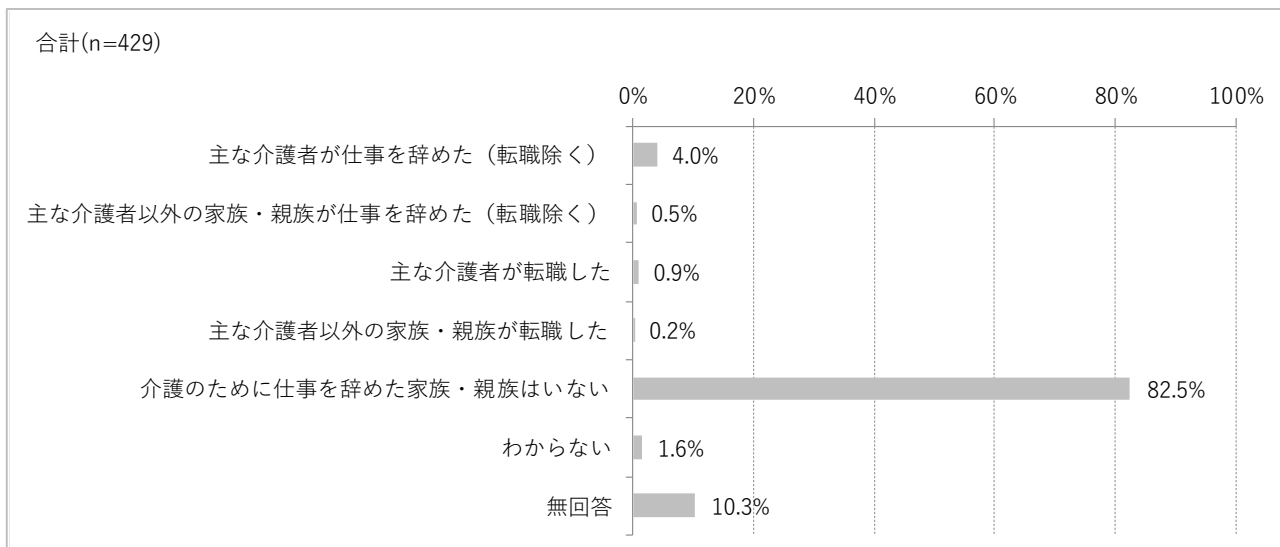


## ③ 介護のための離職の有無

問6 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）。

介護のための離職の有無は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く82.5%、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（4.0%）」、「わからない（1.6%）」となっている。

図表 266 【介護のための離職の有無】

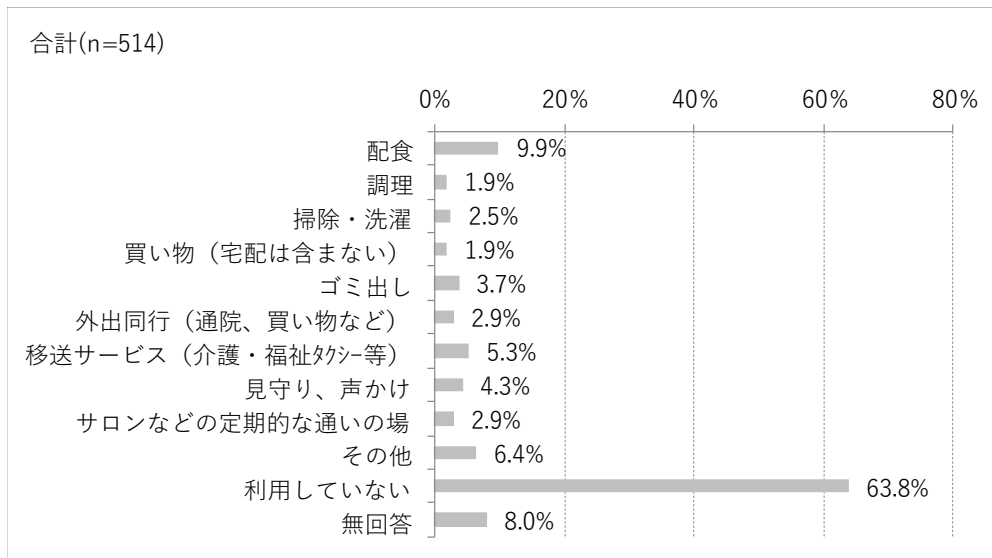


④ 在宅生活とサービスについて

問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）。

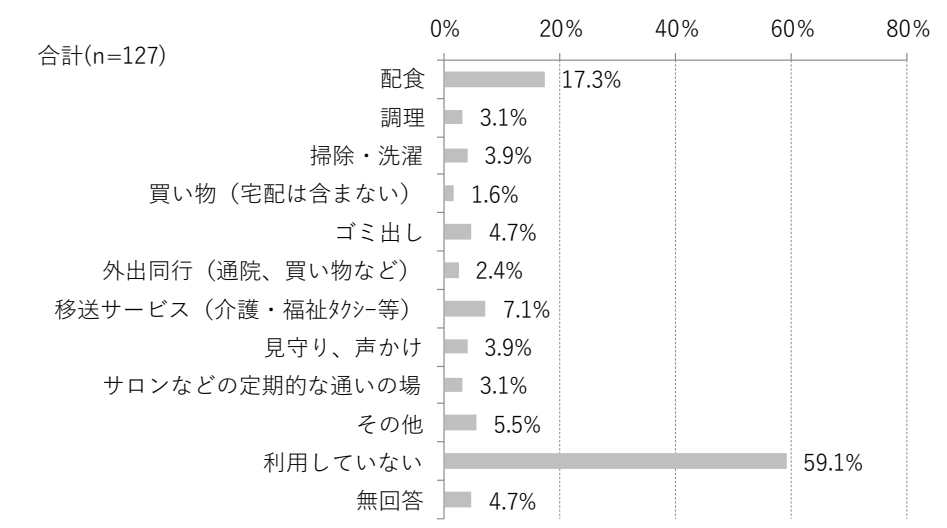
保険外の支援・サービスの利用状況は、「利用していない」の割合が最も高く 63.8%、次いで「配食（9.9%）」、「その他（6.4%）」となっている。

図表 267 【保険外の支援・サービスの有無】



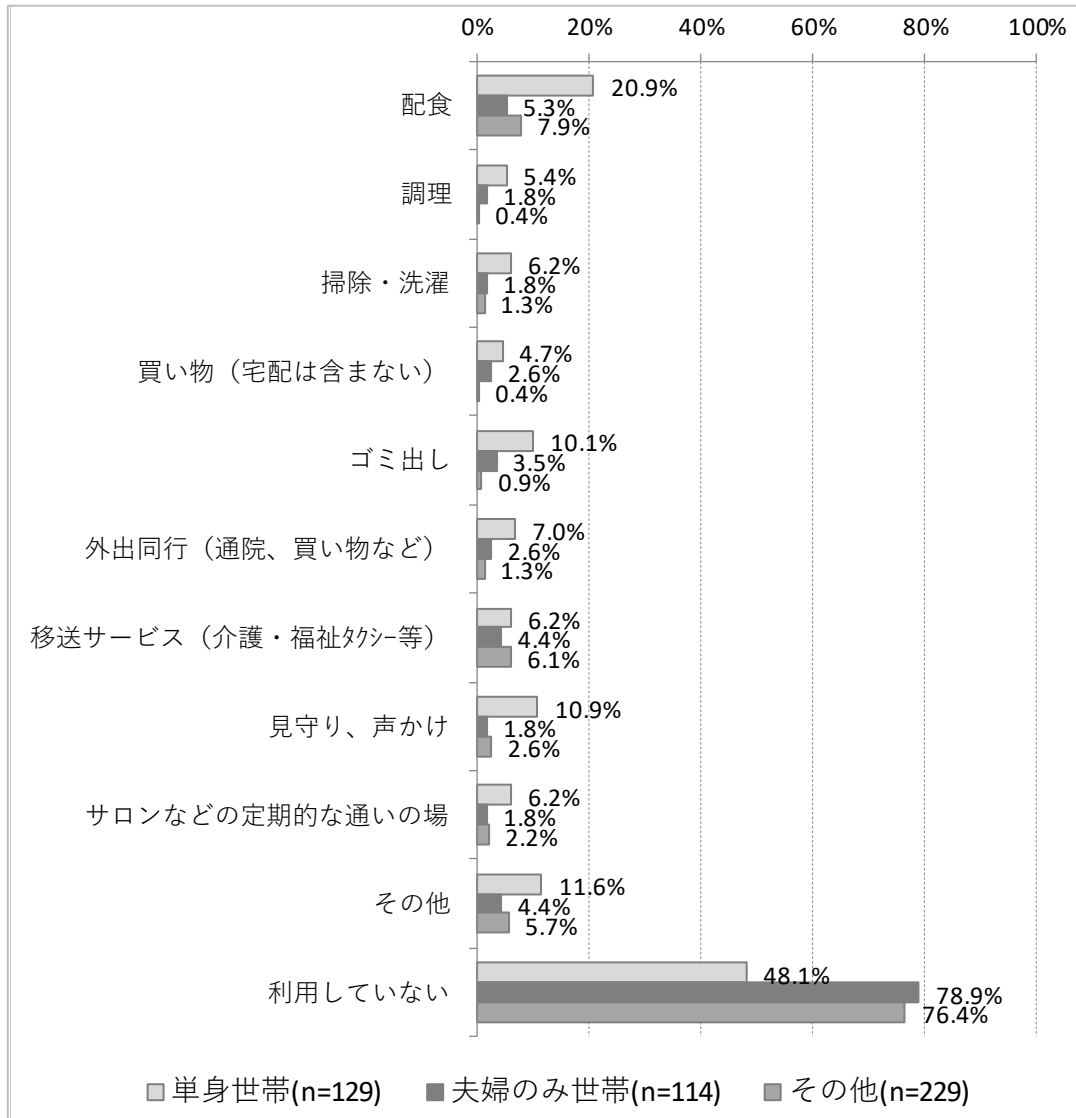
就労状況別では、「フルタイム勤務」の介護者における保険外の支援・サービスの利用状況は、「利用していない」の割合が最も高く 59.1%、次いで「配食（17.3%）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（7.1%）」となっている。

図表 268 【保険外の支援・サービスの有無（フルタイム勤務）】



世帯類型別で、保険外の支援・サービスの利用状況をみると、いずれの世帯類型も「配食」の利用が最も多くなっている。

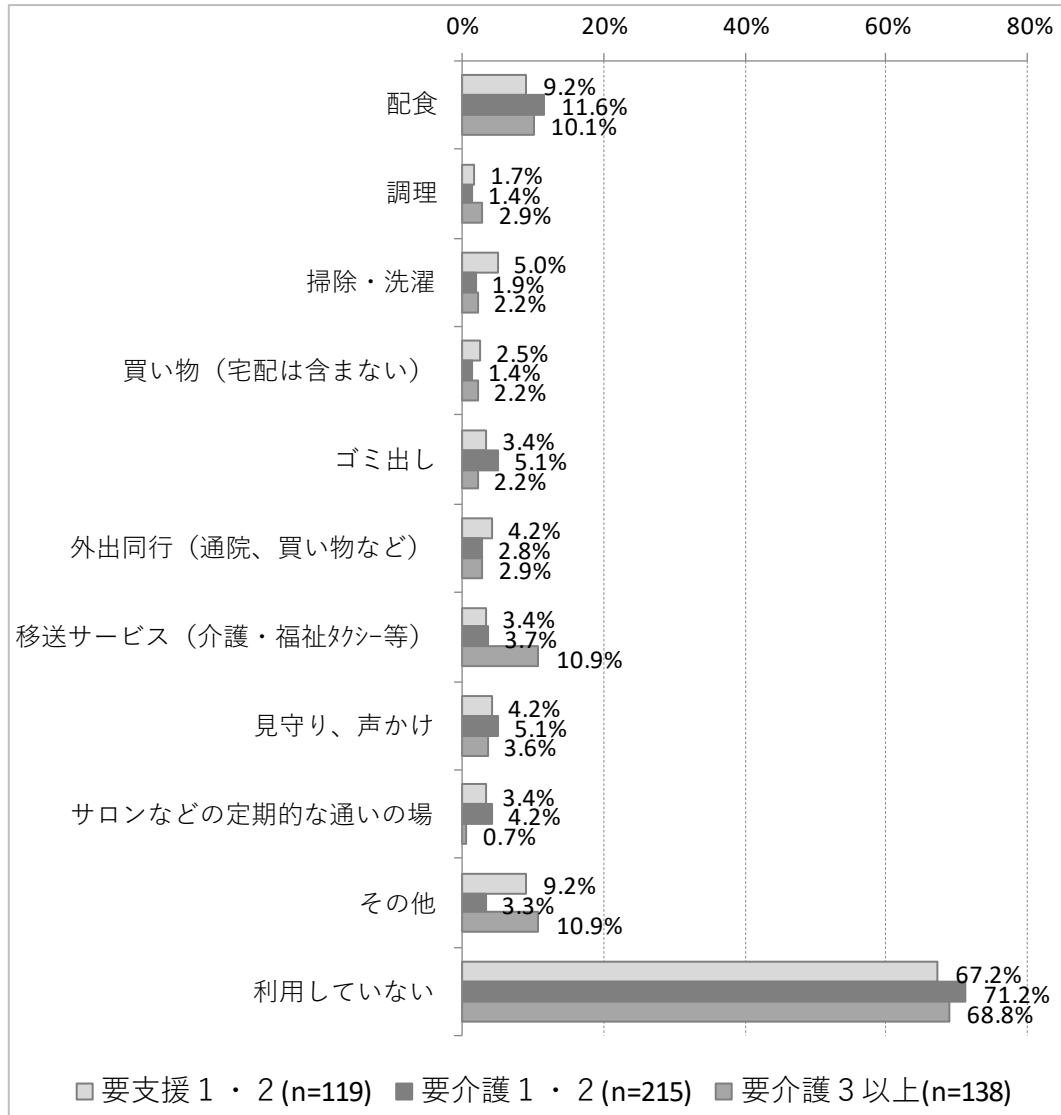
図表 269 【保険外の支援・サービスの有無(世帯類型別)】



## V 在宅介護実態調査結果

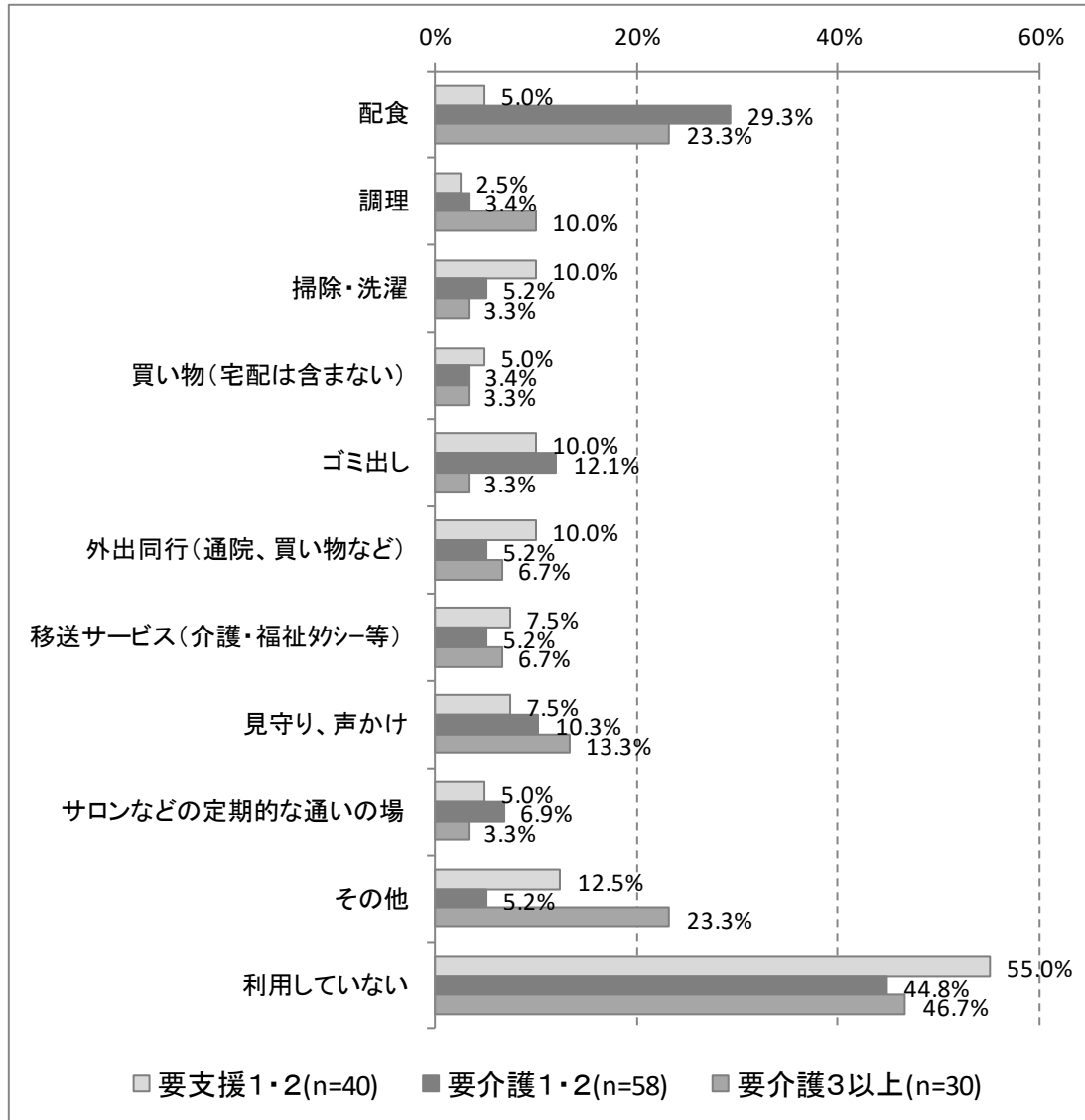
要介護度別で、保険外の支援・サービスの利用状況を見ると、いずれも「配食」の利用が多いが、「利用していない」の割合が約7割と高い。

図表 270 【保険外の支援・サービスの有無(要介護度別)】



「単身世帯」の要介護度別では、保険外の支援・サービスの利用状況をみると、「要介護1・2」「要介護3以上」では「配食」の利用が最も高く、「要支援1・2」では「配食」よりも「掃除・選択」「ゴミ出し」「外出同行（通院、買い物など）」の利用割合が高い。

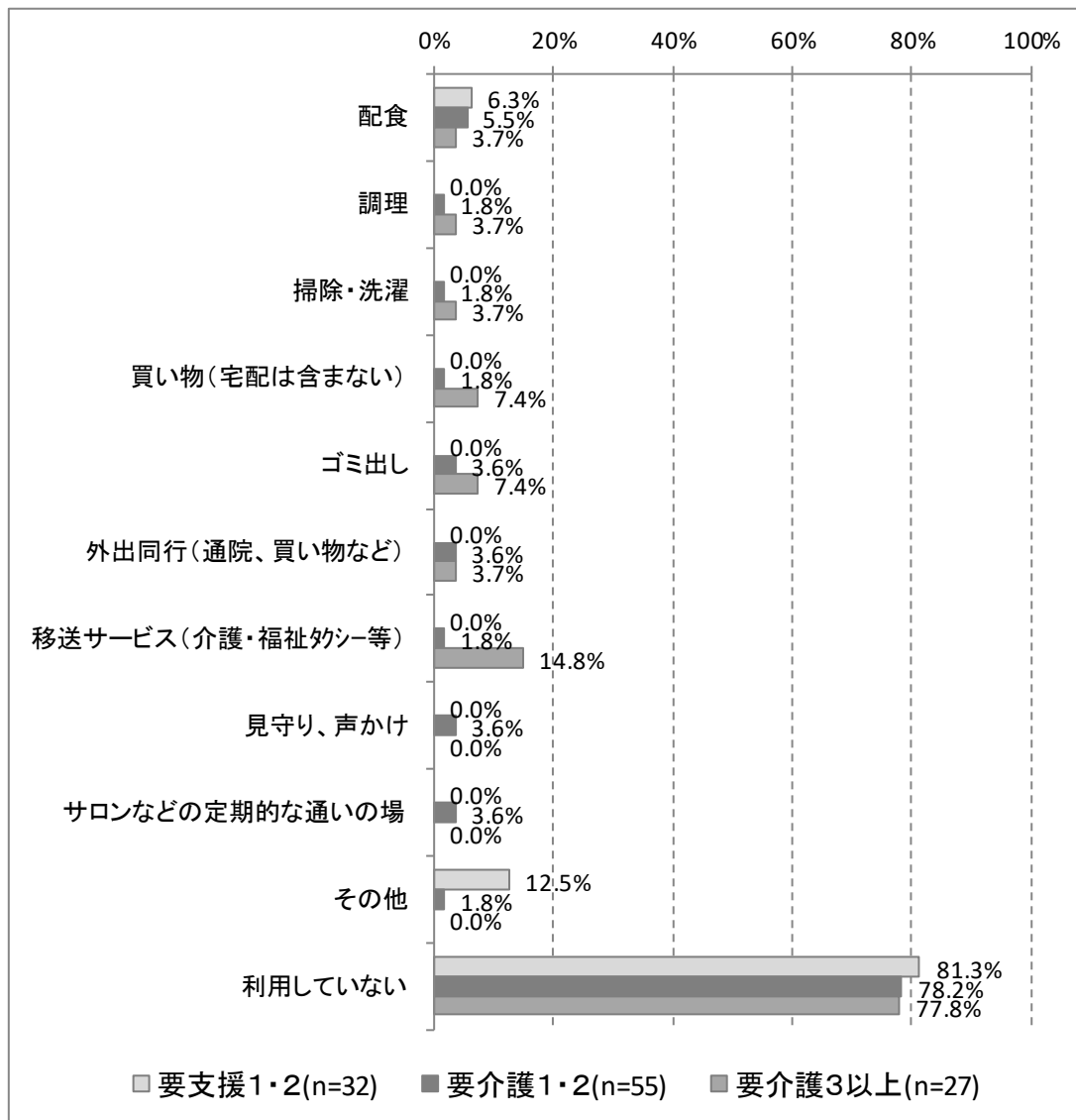
図表 271 【保険外の支援・サービスの有無(単身世帯の要介護度別)】



V 在宅介護実態調査結果

「夫婦のみ世帯」の要介護度別では、保険外の支援・サービスの利用状況をみると、「要支援1・2」「要介護1・2」では「配食」の利用が最も多く、「要介護3以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の利用が最も高い。

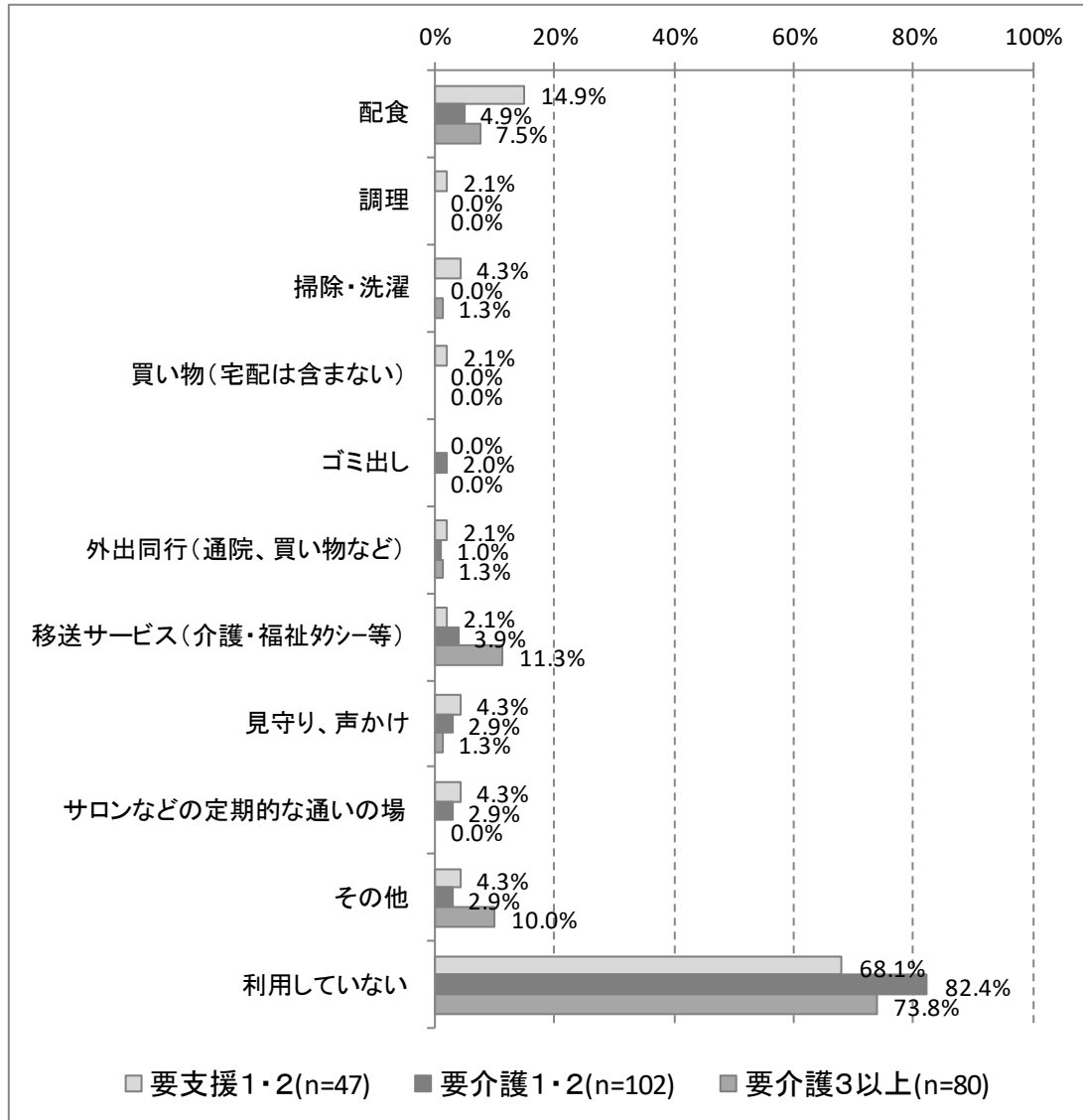
図表 272 【保険外の支援・サービスの有無（夫婦のみ世帯の要介護度別）】





「その他世帯」の要介護度別では、保険外の支援・サービスの利用状況をみると、「要支援 1・2」「要介護1・2」では「配食」の利用が最も多く、「要介護3以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の利用が最も高い。

図表 273 【保険外の支援・サービスの有無(その他世帯の要介護度別)】

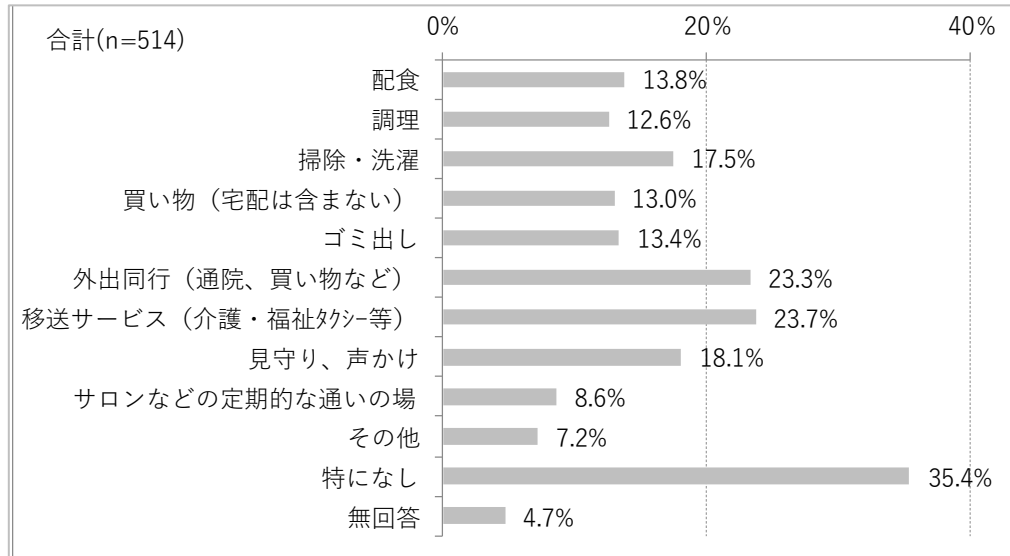


## V 在宅介護実態調査結果

問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）。

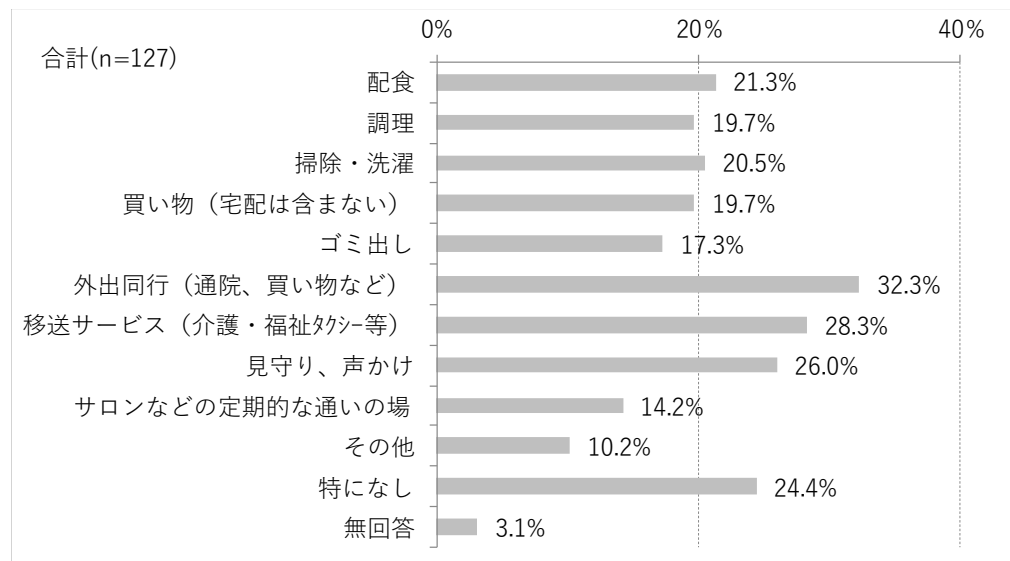
在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「特になし」の割合が最も高く35.4%、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（23.7%）」、「外出同行（通院、買い物など）（23.3%）」となっている。

図表 274 【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】



「フルタイム勤務」の介護者において、在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く32.3%、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（28.3%）」、「見守り、声かけ（26.0%）」となっている。

図表 275 【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）】

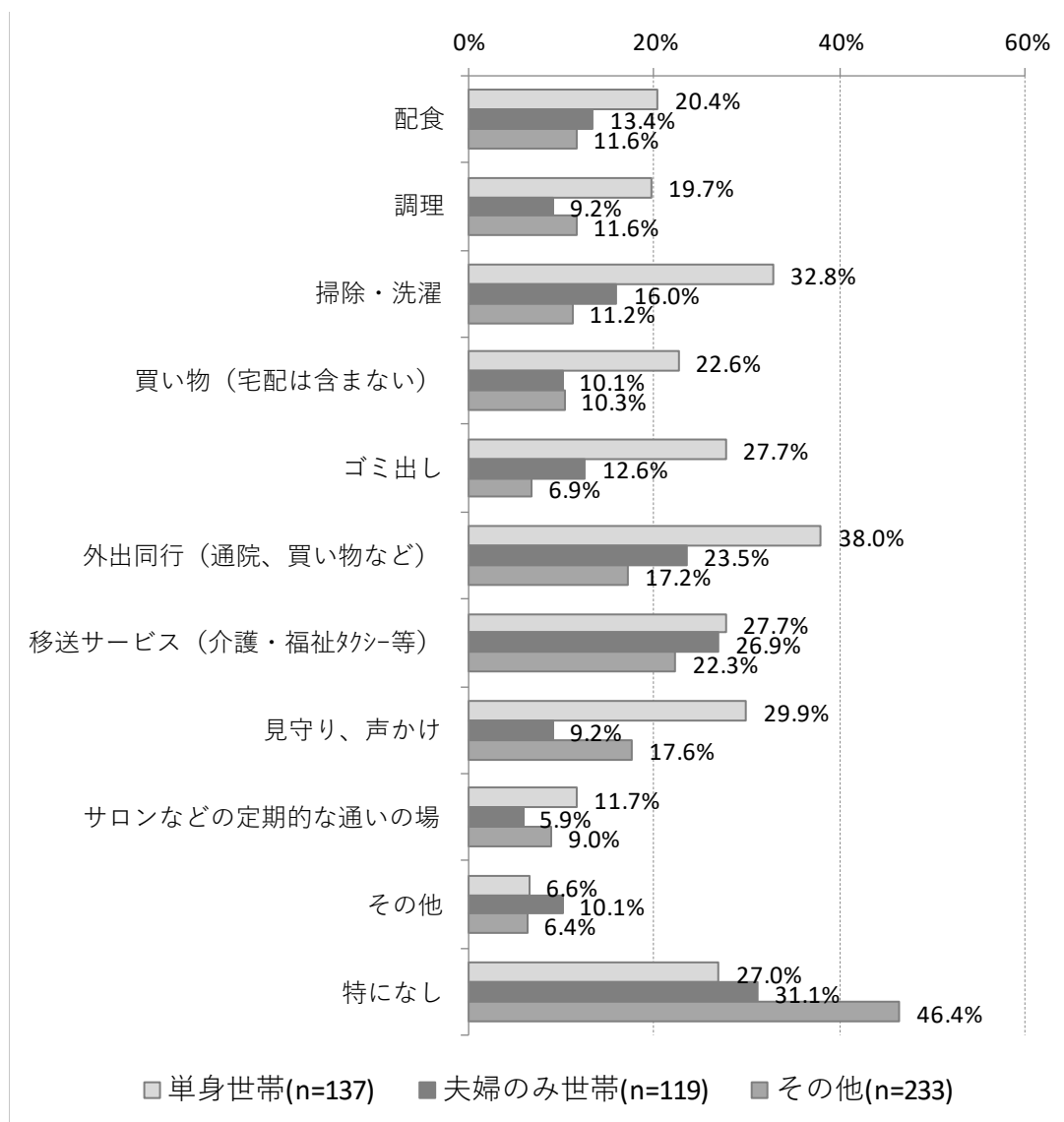


世帯類型別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、「単身世帯」では「外出同行（通院、買い物など）」が38.0%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が32.8%、「見守り、声かけ」が29.9%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「特になし」が31.1%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ｸﾞﾗﾝﾌﾟ等）」が26.9%、「外出同行（通院、買い物など）」が23.5%となっている。

「その他」では「特になし」が46.4%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ｸﾞﾗﾝﾌﾟ等）」が22.3%、「見守り、声かけ」が17.6%となっている。

図表 276 【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（世帯類型別）】

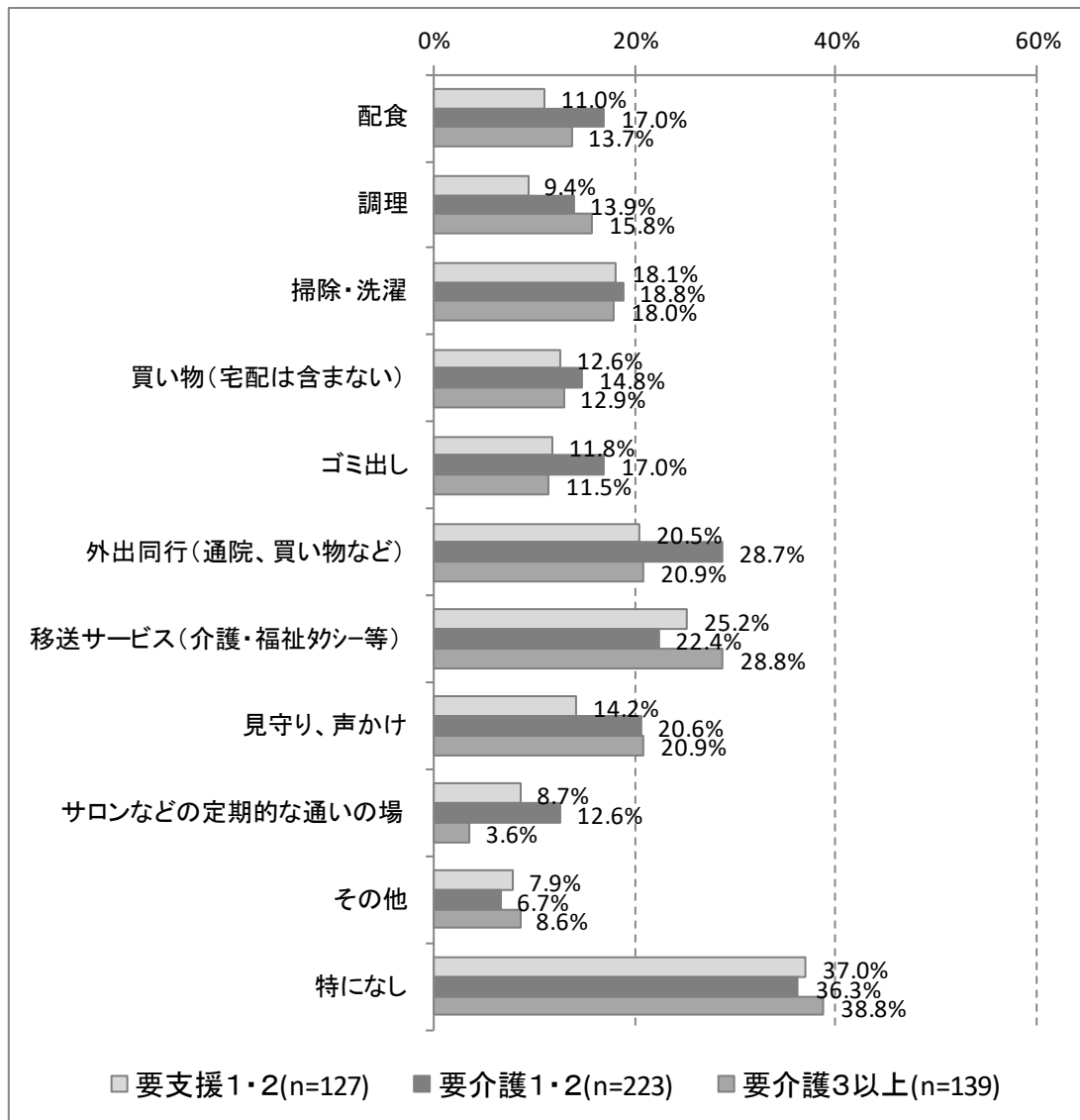


## V 在宅介護実態調査結果

要介護度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、「要支援1・2」「要介護3以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」となっている。

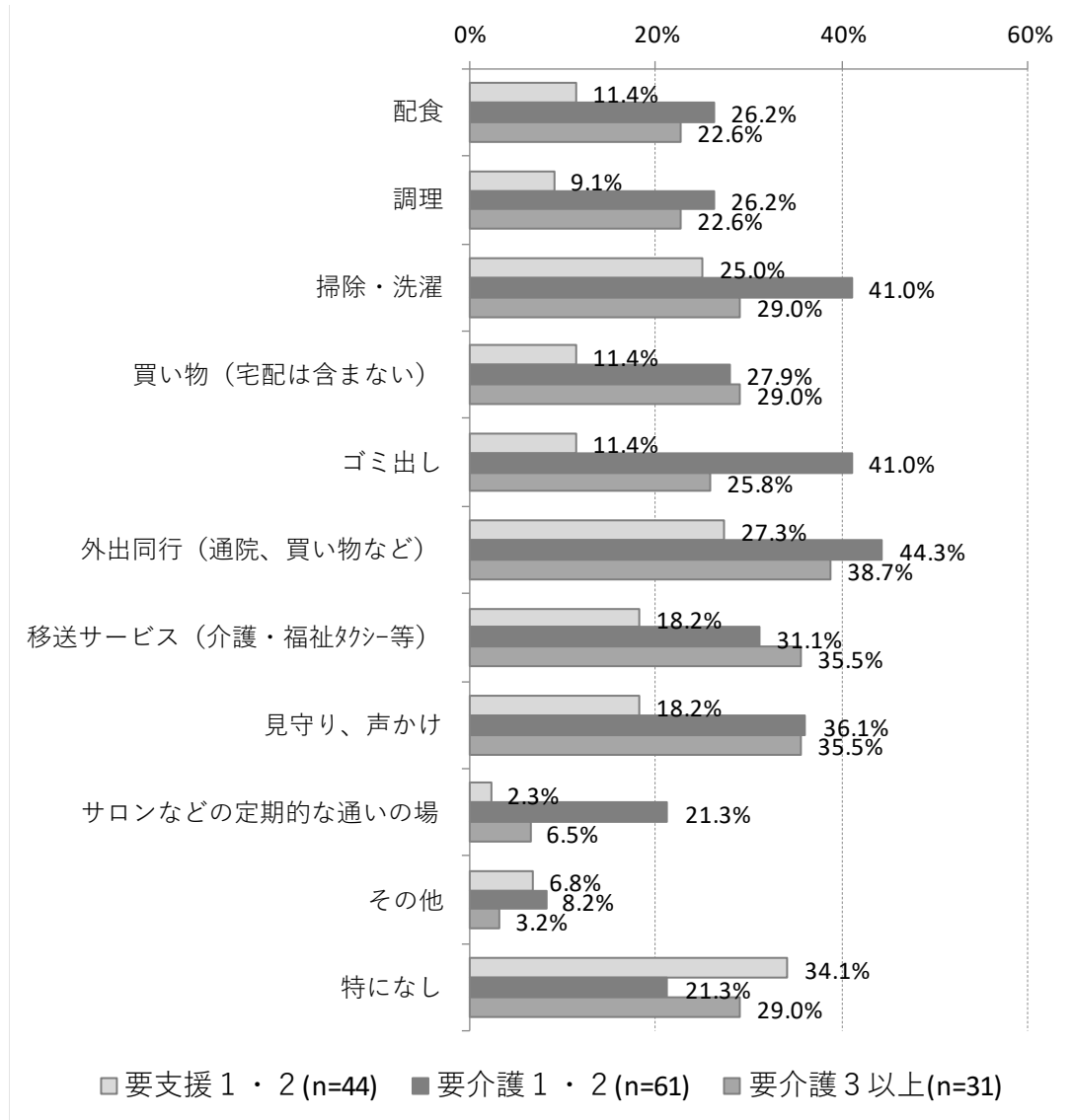
「要介護1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く、ついで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」となっている。

図表 277 【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（要介護度別）】



「単身世帯」の要介護度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、いずれも「外出同行（通院、買い物など）」が最も割合が高かった。

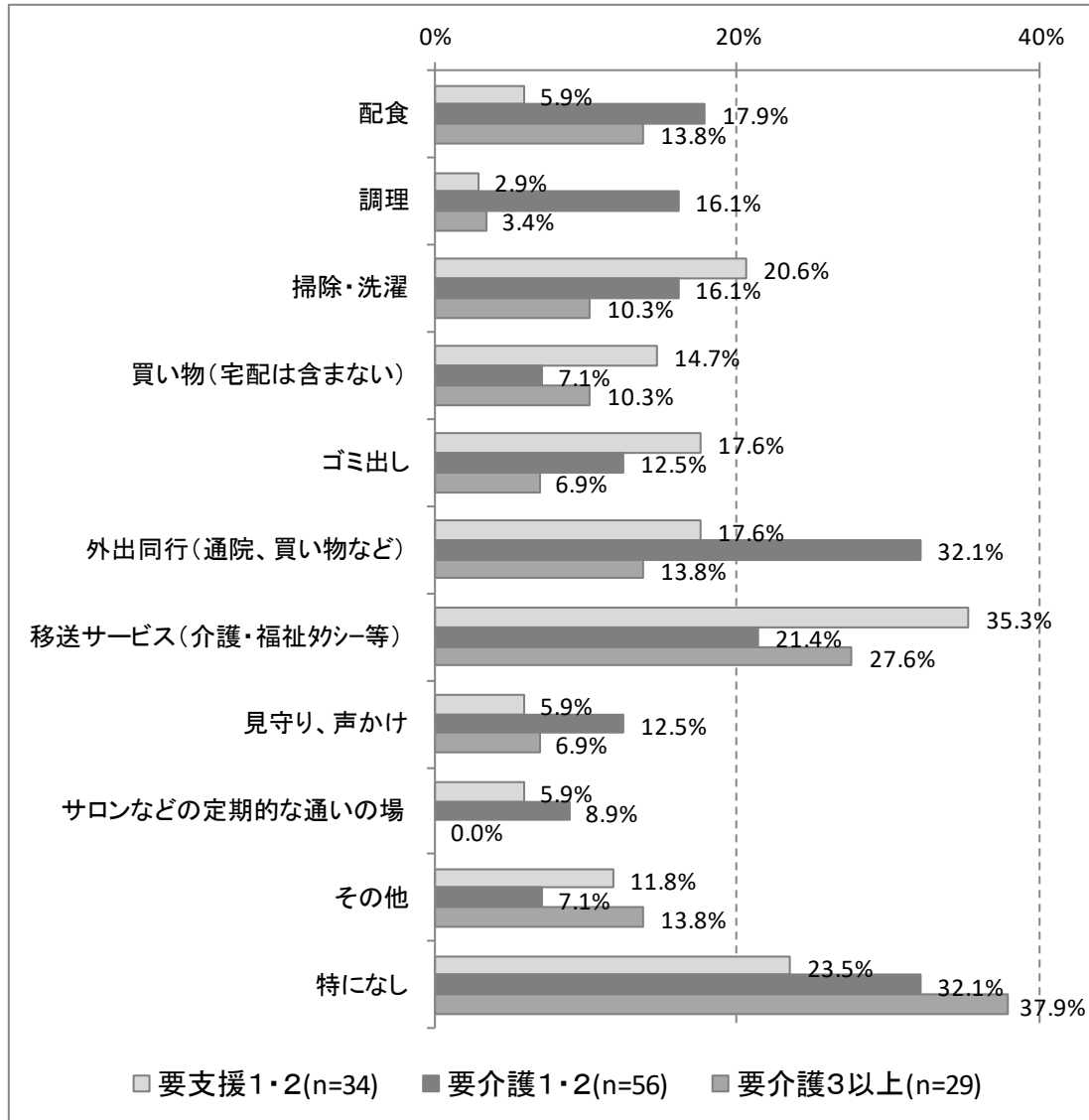
図表 278 【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（要介護度別・単身世帯）】



## V 在宅介護実態調査結果

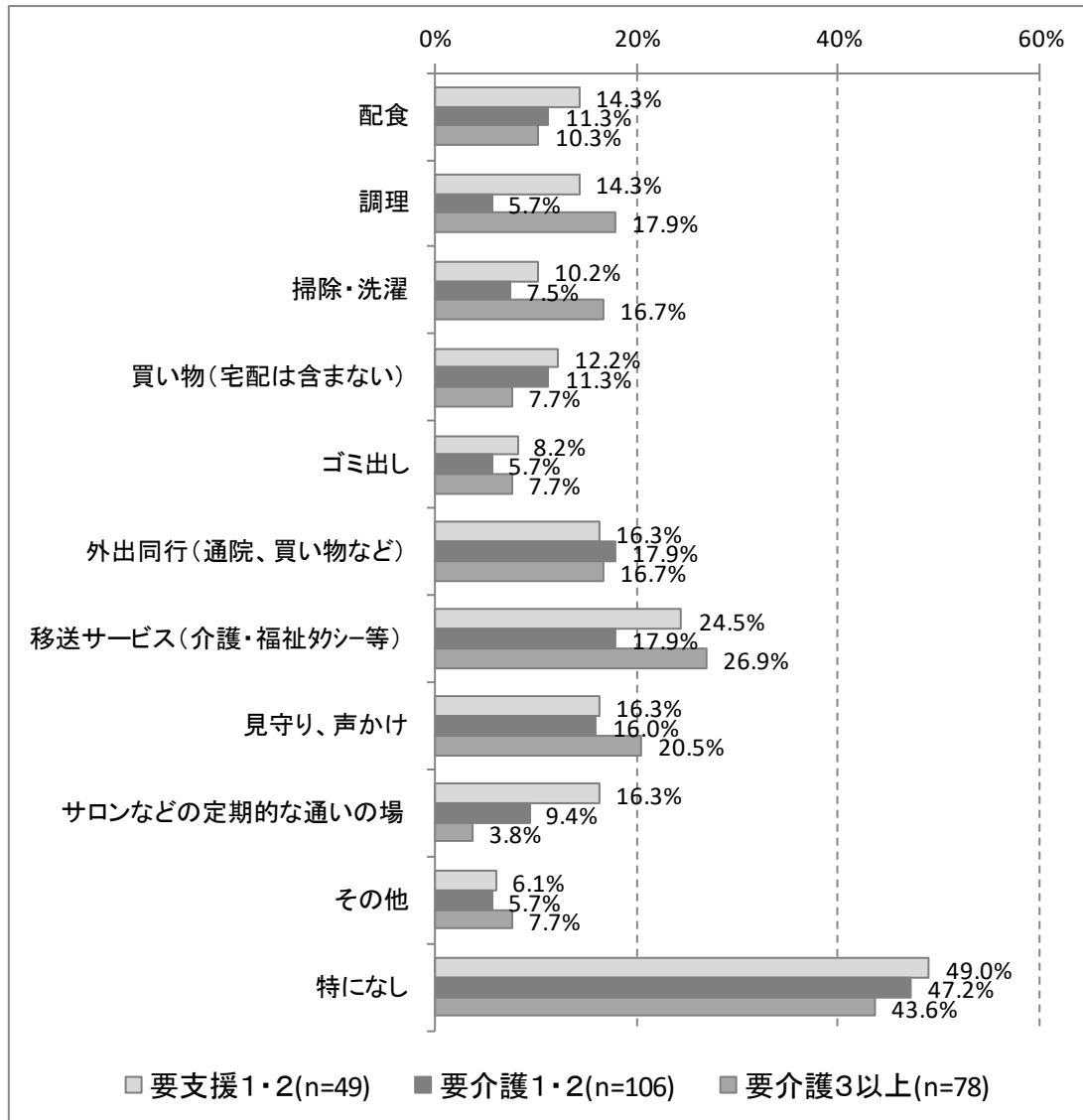
「夫婦のみ世帯」の要介護度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、「要支援1・2」「要介護3以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も割合が高くなっており、「要介護1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が最も割合が高かった。

図表 279 【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（要介護度別・夫婦のみ世帯）】



「その他世帯」の要介護度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、いずれも「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も割合が高かった。

図表 280 【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（要介護度別・その他世帯）】

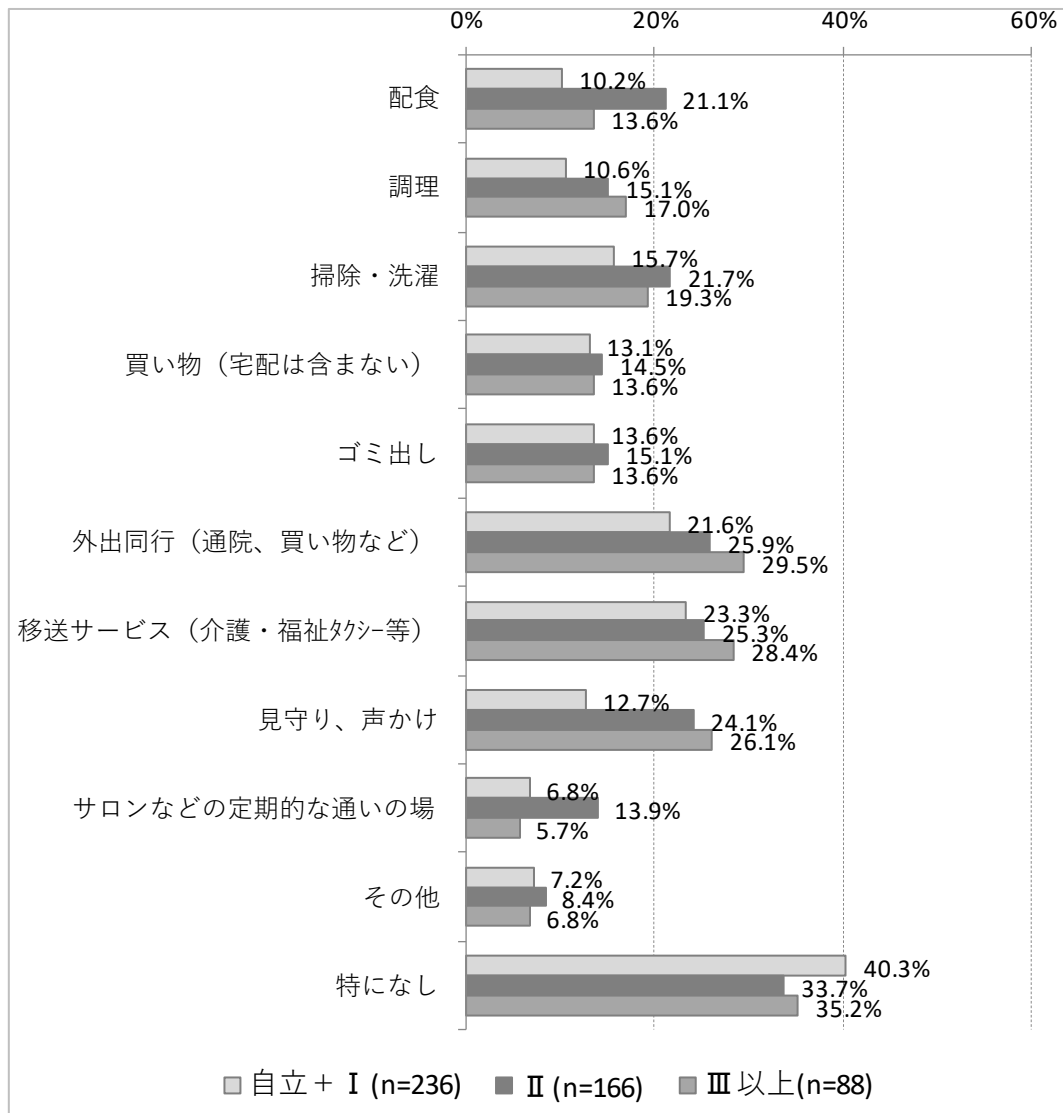


## V 在宅介護実態調査結果

認知症自立度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、「自立+Ⅰ」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」となっている。

「Ⅱ」・「Ⅲ以上」では「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」となっている。

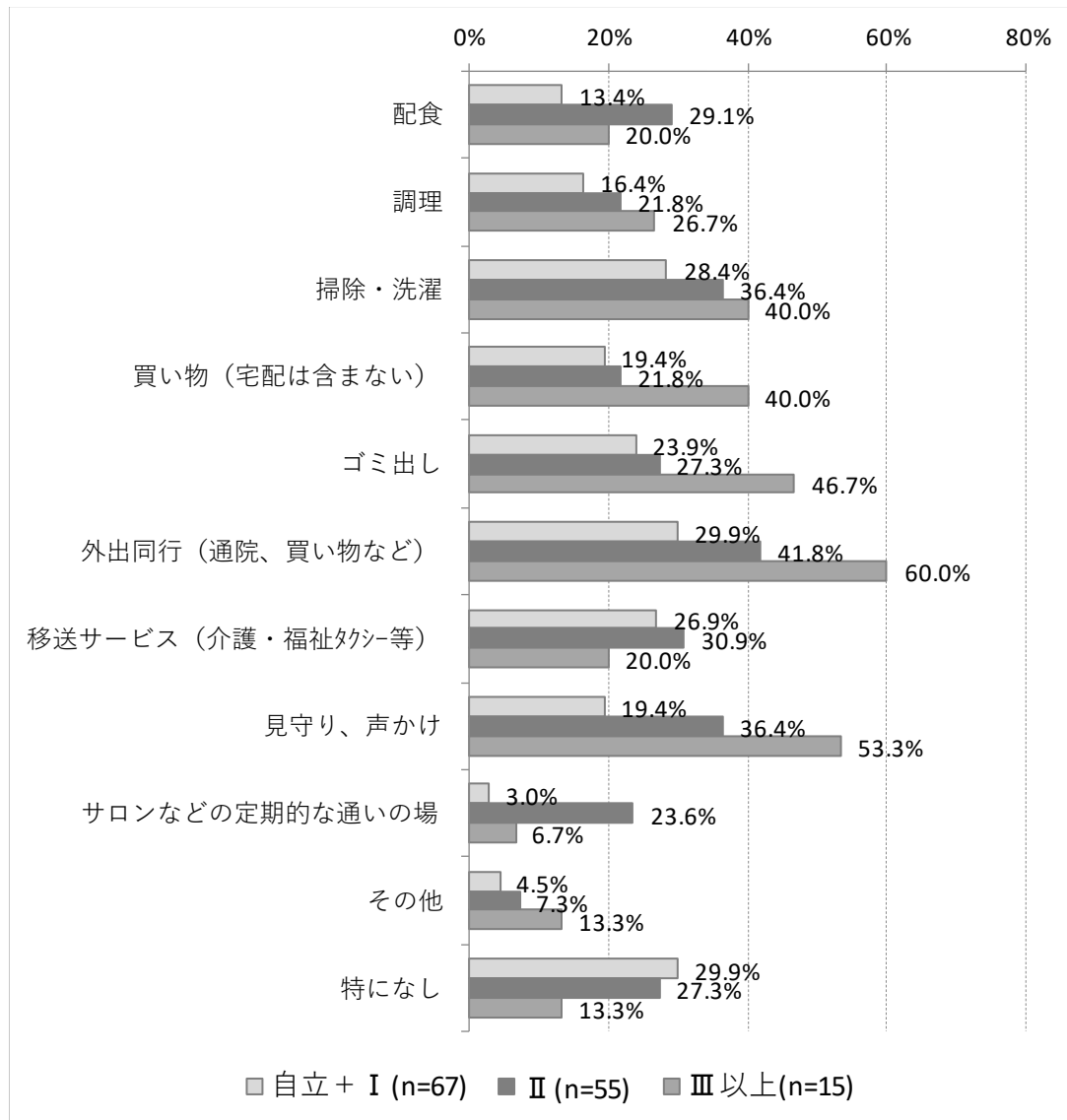
図表 281 【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（認知症自立度別）】





「単身世帯」の認知症自立度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、いずれも「外出同行（通院、買い物など）」が最も割合が高く、「自立+Ⅰ」では「掃除・洗濯」、「Ⅱ」では「掃除・洗濯」「見守り、声かけ」、「Ⅲ以上」では「見守り、声掛け」「ゴミ出し」がそれぞれ次いで高かった。

図表 282 【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（認知症自立度別・単身世帯）】

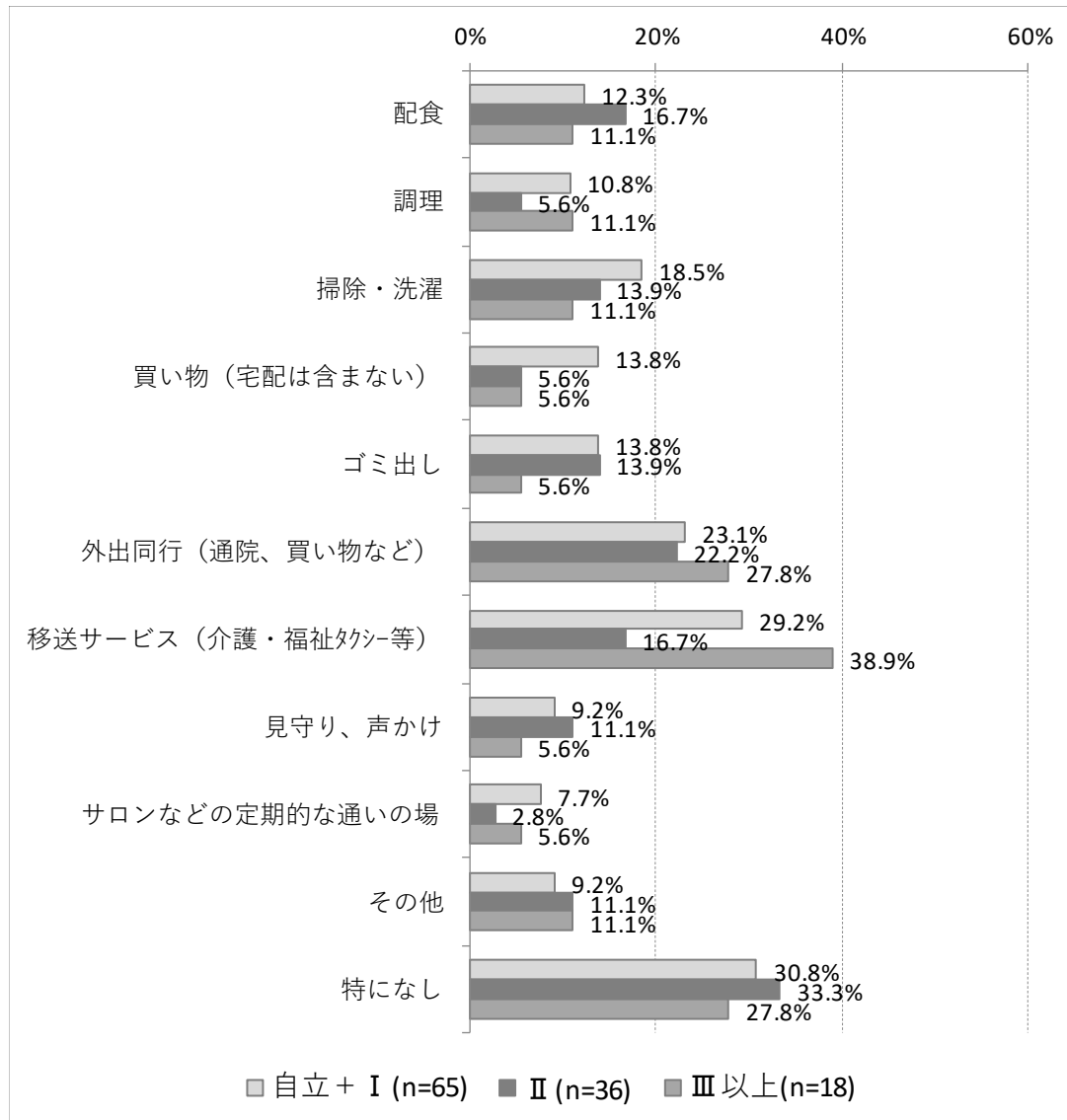


## V 在宅介護実態調査結果

「夫婦のみ世帯」の認知症自立度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、「自立+ I」「Ⅲ以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」の割合が高かった。

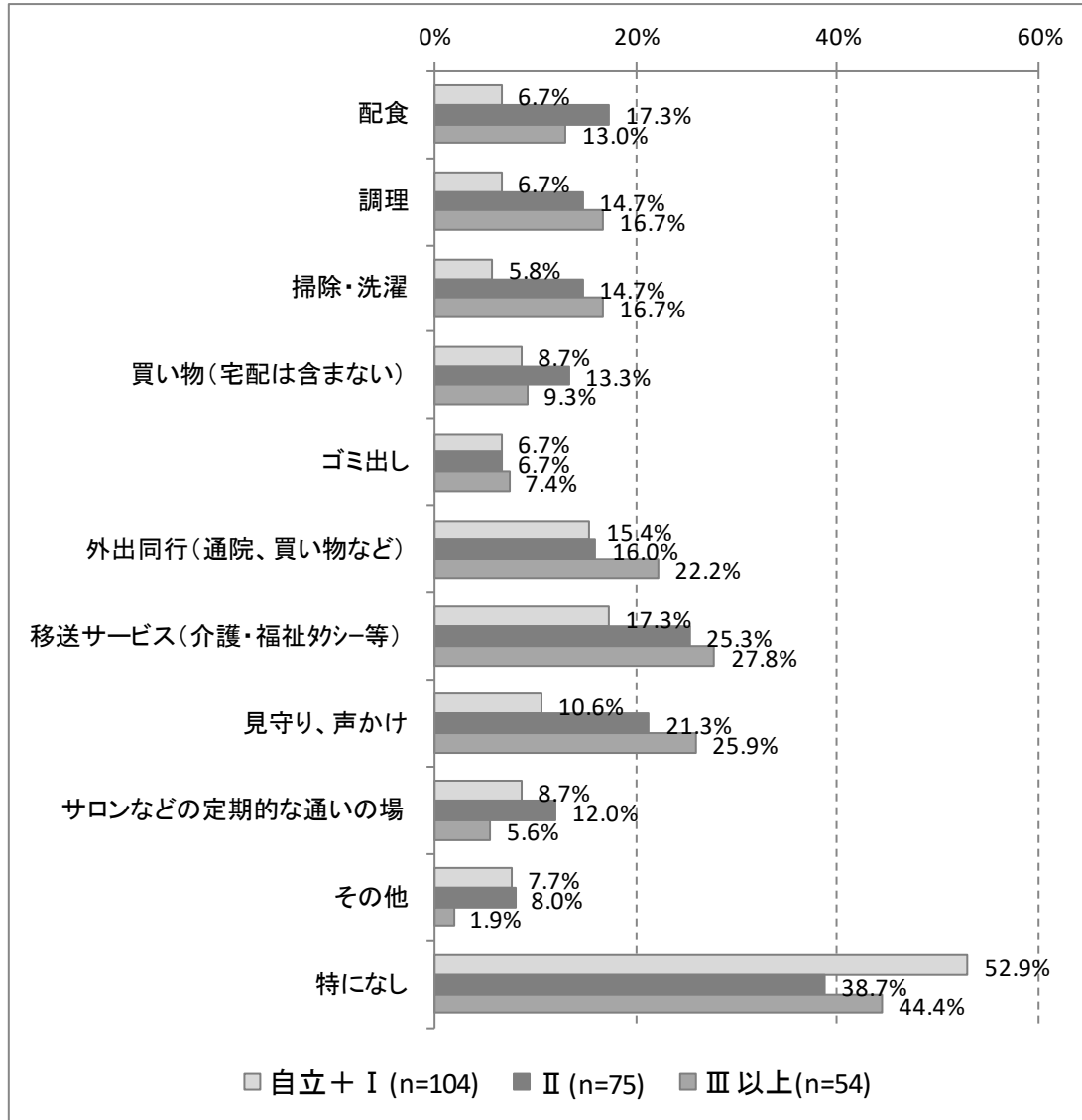
「Ⅱ」では「外出同行（通院、買い物など）」が最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「配食」の割合が高かった。

図表 283 【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（認知症自立度別・夫婦のみ世帯）】



「その他世帯」の認知症自立度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、いずれもでは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が最も割合が高かった。

図表 284 【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（認知症自立度別・その他世帯）】

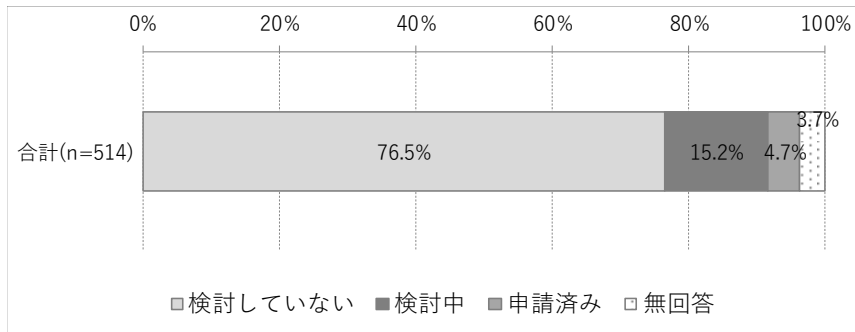


## V 在宅介護実態調査結果

問9 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つに○）

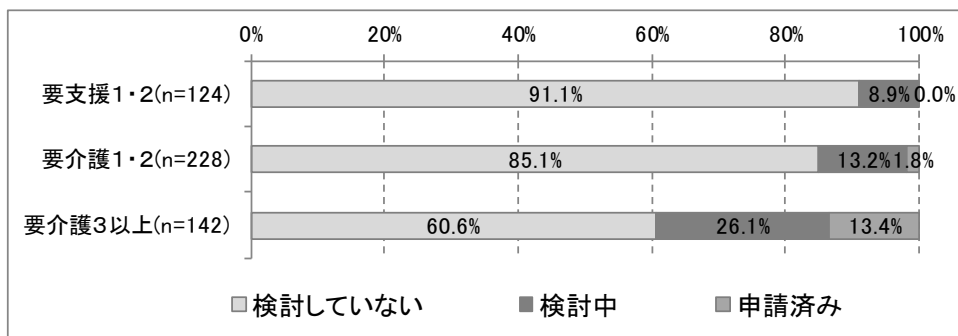
施設等検討の状況は、「検討していない」の割合が最も高く 76.5%、次いで「検討中（15.2%）」、「申請済み（4.7%）」となっている。

図表 285 【施設等検討の状況】



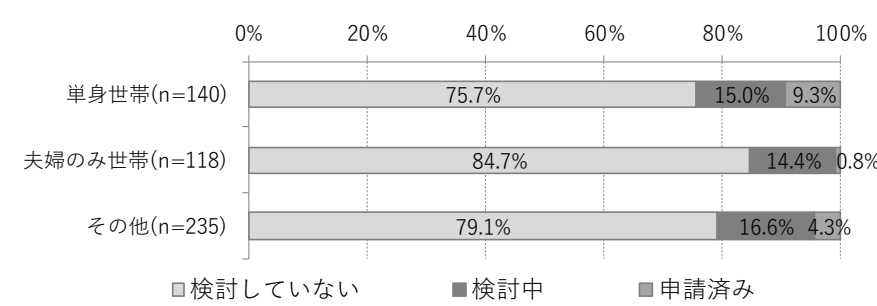
要介護度別の施設等検討の状況として、「検討中」と「申請済み」を合わせた割合は「要支援1・2」で8.9%、「要介護1・2」で15.0%、「要介護3以上」で39.5%となっている。

図表 286 【施設等検討の状況(要介護度別)】



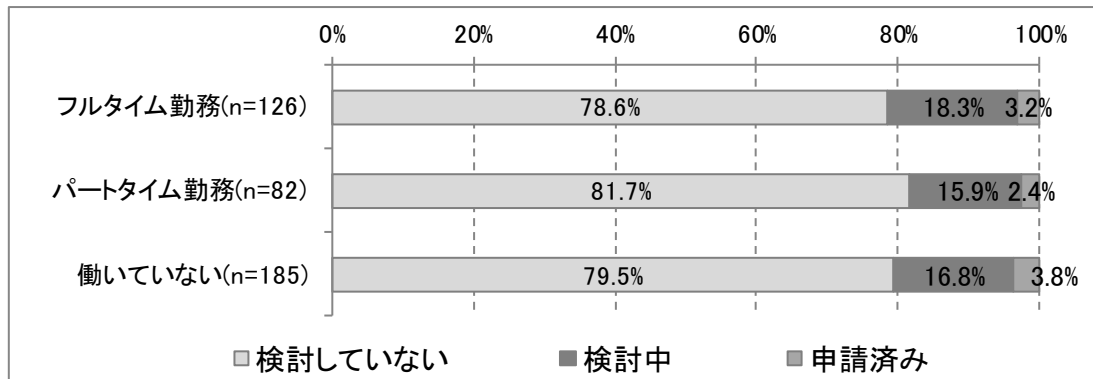
世帯類型別の施設等検討の状況として、「検討中」と「申請済み」を合わせた割合は「単身世帯」で24.3%、「夫婦のみ世帯」で15.2%となっている。

図表 287 【施設等検討の状況(世帯類型別)】



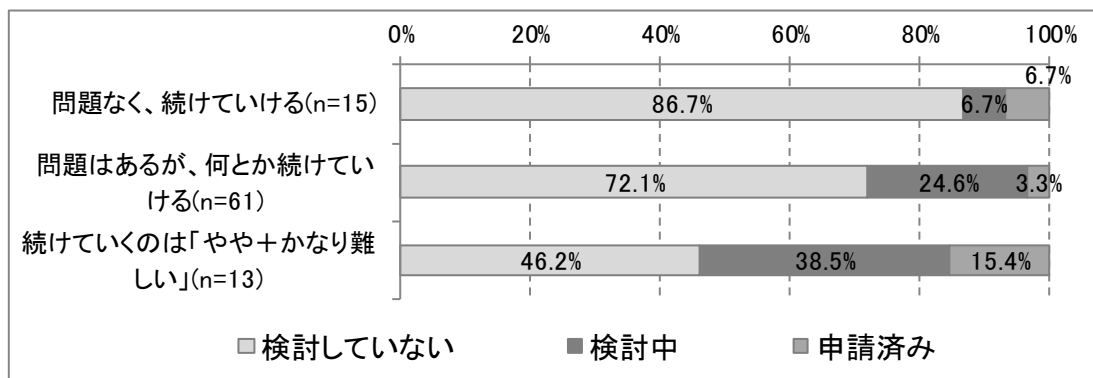
就労状況別の施設等検討の状況として、「検討中」と「申請済み」を合わせた割合は「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」で2割程度となっている。

図表 288 【施設等検討の状況(就労状況別)】



就労継続見込み別の施設等検討の状況として、「検討中」と「申請済み」を合わせた割合は「問題なく、続けていける」で13.4%、「問題はあるが、何とか続けていける」で27.9%、「続けていくのは『やや+かなり難しい』」で53.9%となっている。

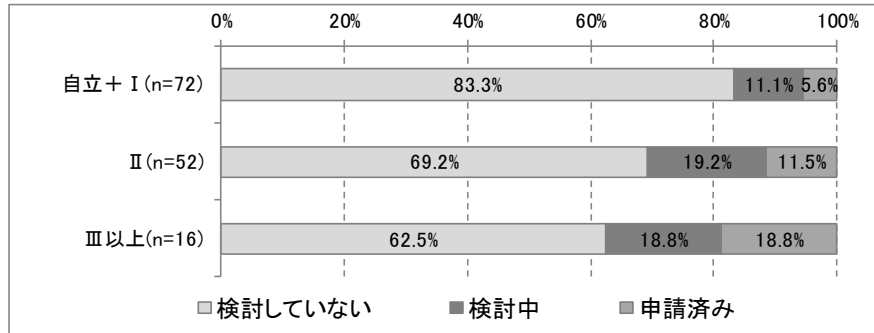
図表 289 【施設等検討の状況(就労継続見込み別)】



V 在宅介護実態調査結果

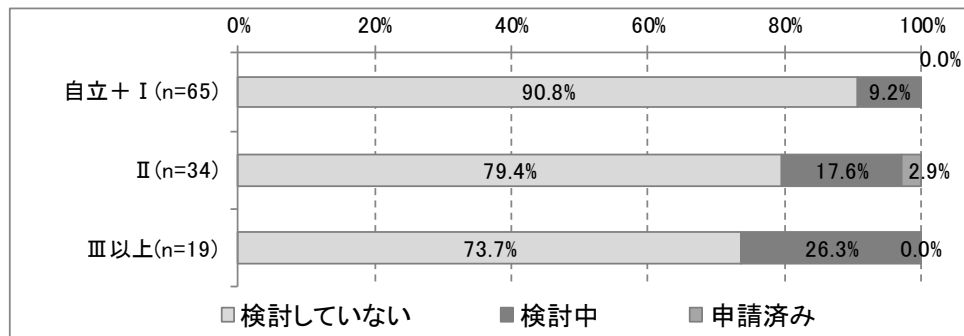
「単身世帯」の認知症自立度別の施設等の検討状況として、「検討中」と「申請済み」を合わせた割合は「自立+ I」で16.7%、「II」で30.7%、「III」で37.6%となっている。

図表 290 【施設等検討の状況(単身世帯 認知症自立度別)】



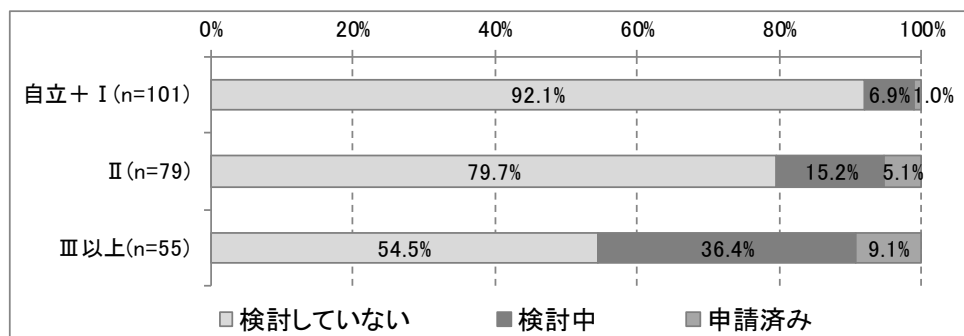
「夫婦のみ世帯」の認知症自立度別の施設等の検討状況として、「検討中」と「申請済み」を合わせた割合は「自立+ I」で9.2%、「II」で20.5%、「III」で26.3%となっている。

図表 291 【施設等検討の状況(夫婦のみ世帯 認知症自立度別)】



「その他世帯」の認知症自立度別の施設等の検討状況として、「検討中」と「申請済み」を合わせた割合は「自立+ I」で7.9%、「II」で20.3%、「III」で45.5%となっている。

図表 292 【施設等検討の状況(その他世帯 認知症自立度別)】

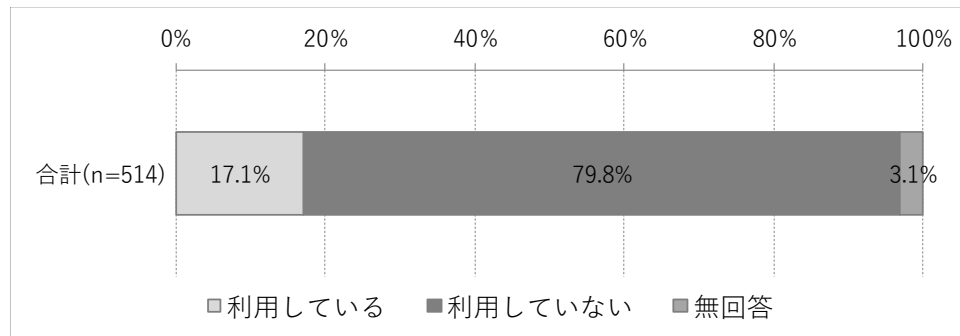


## ⑤ 訪問診療の利用の有無

問 10 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つに○）

訪問診療の利用状況は、「利用していない」の割合が最も高く 79.8%、次いで「利用している（17.1%）」となっている。

図表 293 【訪問診療の利用状況】

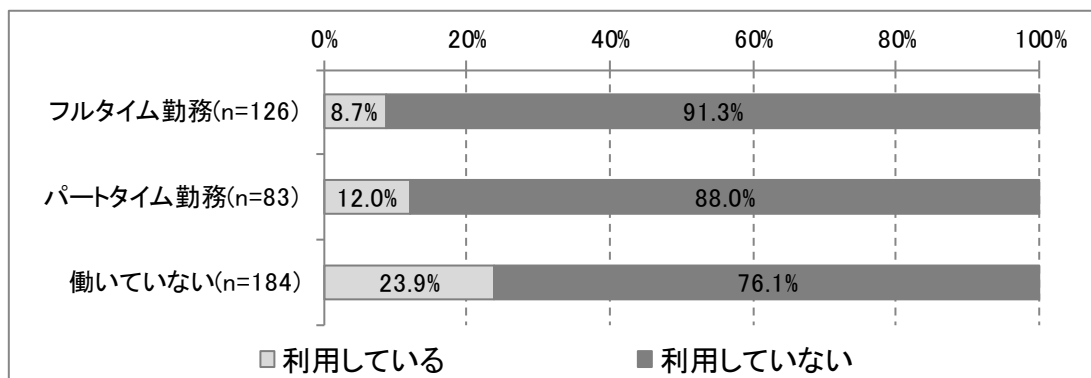


就労状況別での訪問診療の利用状況は、「フルタイム勤務」では「利用していない」が91.3%と最も割合が高く、次いで「利用している」が8.7%となっている。

「パートタイム勤務」では「利用していない」が88.0%と最も割合が高く、次いで「利用している」が12.0%となっている。

「働いていない」では「利用していない」が76.1%と最も割合が高く、次いで「利用している」が23.9%となっている。

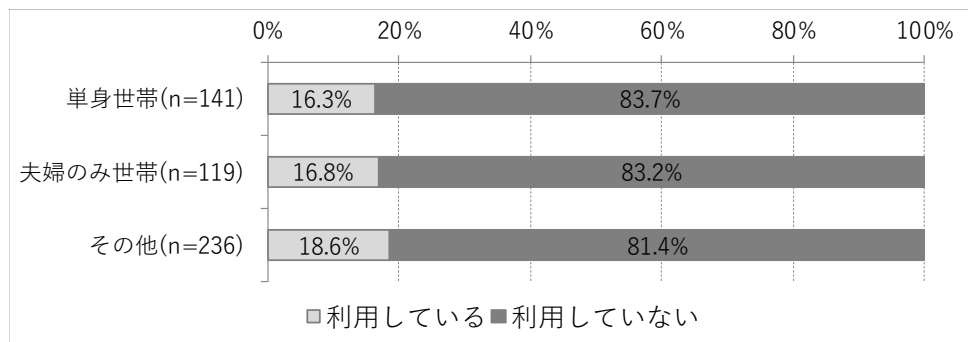
図表 294 【就労状況別 訪問診療の利用状況】



## V 在宅介護実態調査結果

世帯類型別での訪問診療の利用状況は、どの世帯でも利用割合が1割台後半であった。

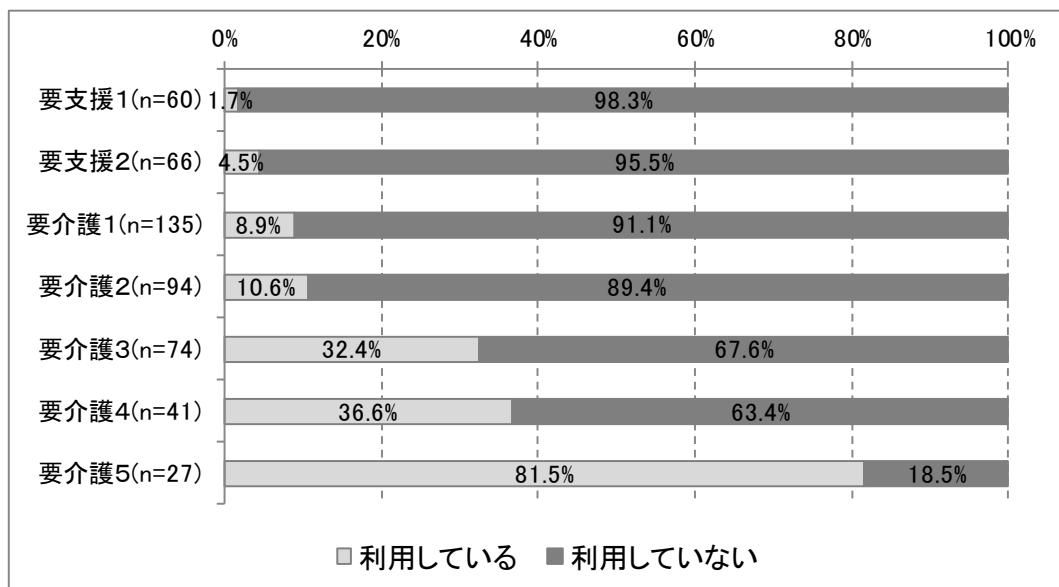
図表 295 【世帯類型別 訪問診療の利用状況】



要介護度別での訪問診療の利用状況は、「要支援 1」から「要介護 1」にかけての利用割合が1割に満たない状況になっている。

「要介護 2」は1割台、「要介護 3」「要介護 4」は3割台、「要介護 5」は8割台と介護度が高くなるほど利用割合が高くなる傾向が見られた。

図表 296 【要介護度別 訪問診療の利用状況】



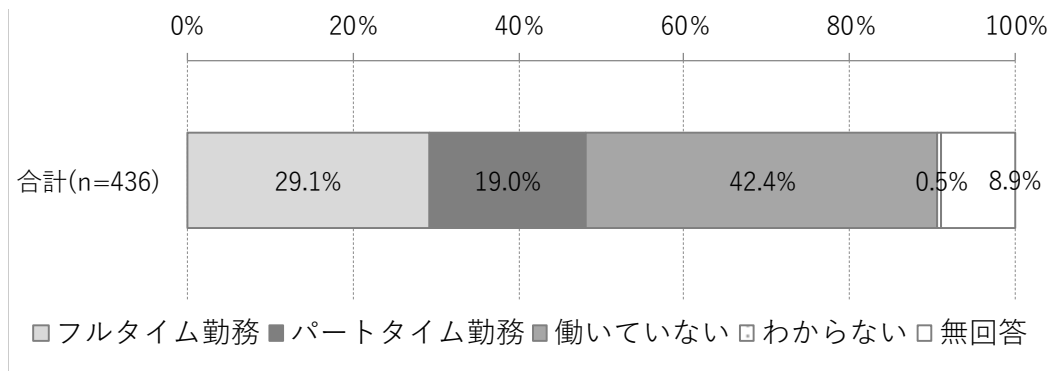


⑥ 介護者と就労継続

問 11 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つに○）

主な介護者の勤務形態は、「働いていない」の割合が最も高く42.4%、次いで「フルタイム勤務（29.1%）」、「パートタイム勤務（19.0%）」となっている。

図表 297【主な介護者の勤務形態】

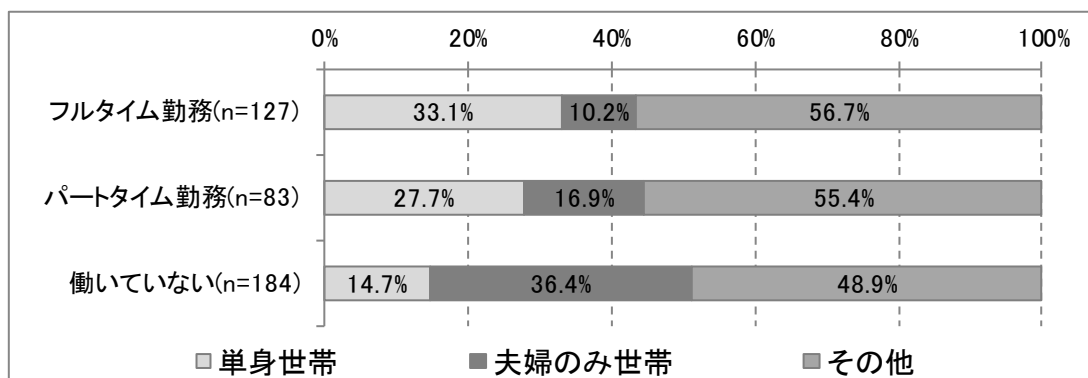


主な介護者の就労状況別に世帯類型をみると、「フルタイム勤務」では「その他」が56.7%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が33.1%、「夫婦のみ世帯」が10.2%となっている。

「パートタイム勤務」では「その他」が55.4%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が27.7%、「夫婦のみ世帯」が16.9%となっている。

「働いていない」では「その他」が48.9%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が36.4%、「単身世帯」が14.7%となっている。

図表 298【世帯類型】



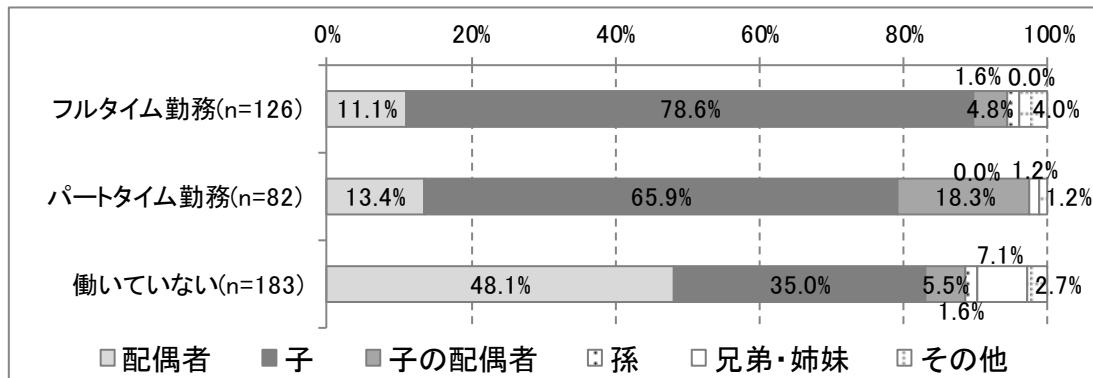
## V 在宅介護実態調査結果

主な介護者の就労状況別に本人との関係をみると、「フルタイム勤務」では「子」が78.6%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が11.1%、「子の配偶者」が4.8%となっている。

「パートタイム勤務」では「子」が65.9%と最も割合が高く、次いで「子の配偶者」が18.3%、「配偶者」が13.4%となっている。

「働いていない」では「配偶者」が48.1%と最も割合が高く、次いで「子」が35.0%、「兄弟・姉妹」が7.1%となっている。

図表 299 【主な介護者の本人との関係】

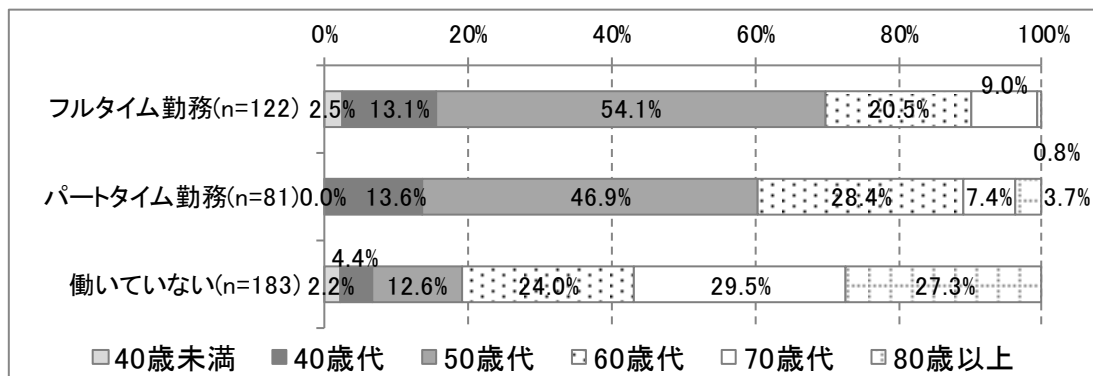


主な介護者の就労状況別に年齢をみると、「フルタイム勤務」では「50歳代」が54.1%と最も割合が高く、次いで「60歳代」が20.5%、「40歳代」が13.1%となっている。

「パートタイム勤務」では「50歳代」が46.9%と最も割合が高く、次いで「60歳代」が28.4%、「40歳代」が13.6%となっている。

「働いていない」では「70歳代」が29.5%と最も割合が高く、次いで「80歳以上」が27.3%、「60歳代」が24.0%となっている。

図表 300 【主な介護者の年齢】

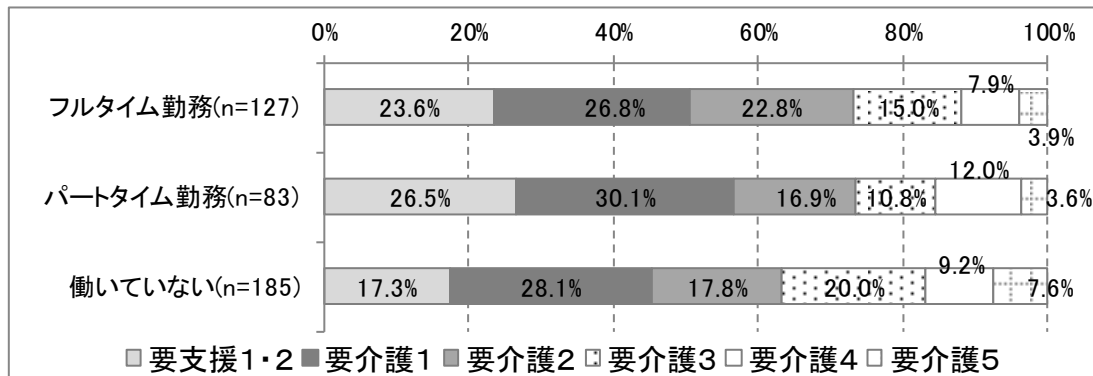


主な介護者の就労状況別に要介護度をみると、「フルタイム勤務」では「要介護1」が26.8%と最も割合が高く、次いで「要支援1・2」が23.6%、「要介護2」が22.8%となっている。

「パートタイム勤務」では「要介護1」が30.1%と最も割合が高く、次いで「要支援1・2」が26.5%、「要介護2」が16.9%となっている。

「働いていない」では「要介護1」が28.1%と最も割合が高く、次いで「要介護3」が20.0%、「要介護2」が17.8%となっている。

図表 301 【要介護度】

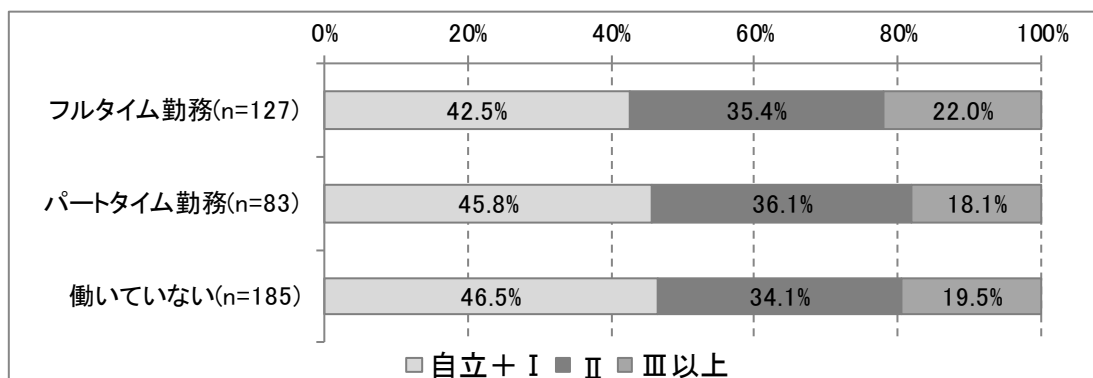


主な介護者の就労状況別に認知症自立度をみると、「フルタイム勤務」では「自立+I」が42.5%と最も割合が高く、次いで「II」が35.4%、「III以上」が22.0%となっている。

「パートタイム勤務」では「自立+I」が45.8%と最も割合が高く、次いで「II」が36.1%、「III以上」が18.1%となっている。

「働いていない」では「自立+I」が46.5%と最も割合が高く、次いで「II」が34.1%、「III以上」が19.5%となっている。

図表 302 【認知症自立度】



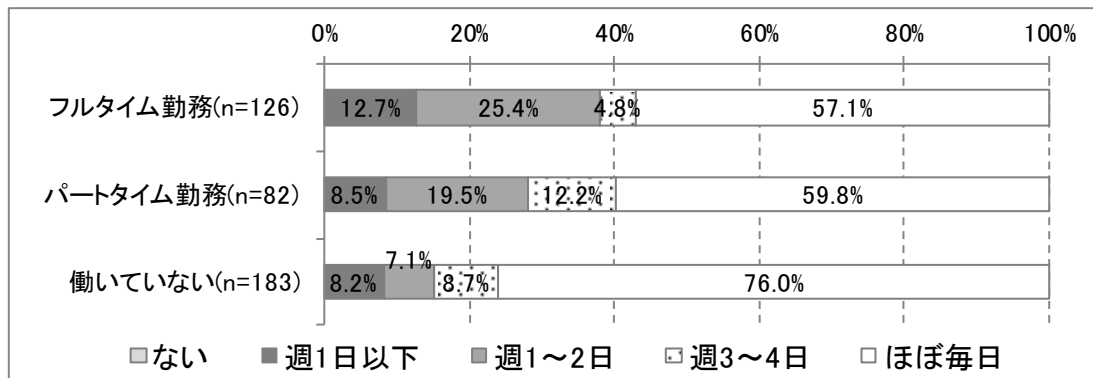
## V 在宅介護実態調査結果

主な介護者の就労状況別に家族等による介護の頻度をみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 57.1%と最も割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 25.4%、「週 1 日以下」が 12.7%となっている。

「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 59.8%と最も割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 19.5%、「週 3～4 日」が 12.2%となっている。

「働いていない」では「ほぼ毎日」が 76.0%と最も割合が高く、次いで「週 3～4 日」が 8.7%、「週 1 日以下」が 8.2%となっている。

図表 303 【家族等による介護の頻度】

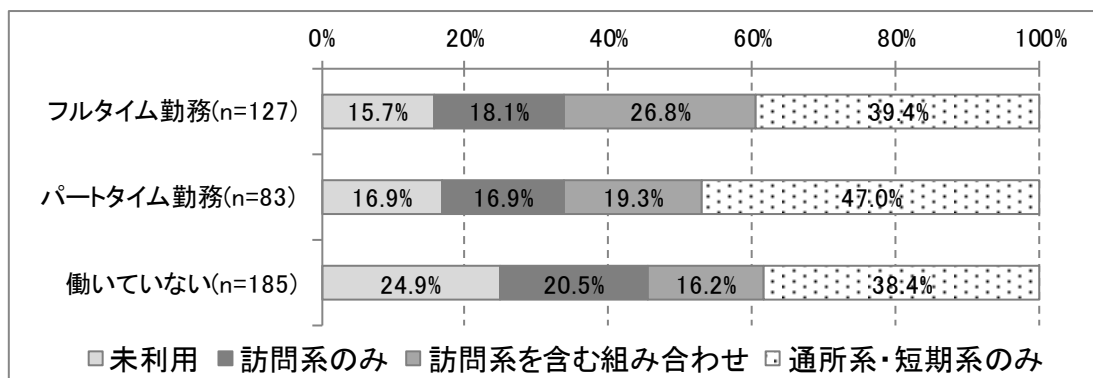


主な介護者の就労状況別にサービス利用の組み合わせをみると、「フルタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が 39.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 26.8%、「訪問系のみ」が 18.1%となっている。

「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が 47.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 19.3%、「未利用」、「訪問系のみ」が 16.9%となっている。

「働いていない」では「通所系・短期系のみ」が 38.4%と最も割合が高く、次いで「未利用」が 24.9%、「訪問系のみ」が 20.5%となっている。

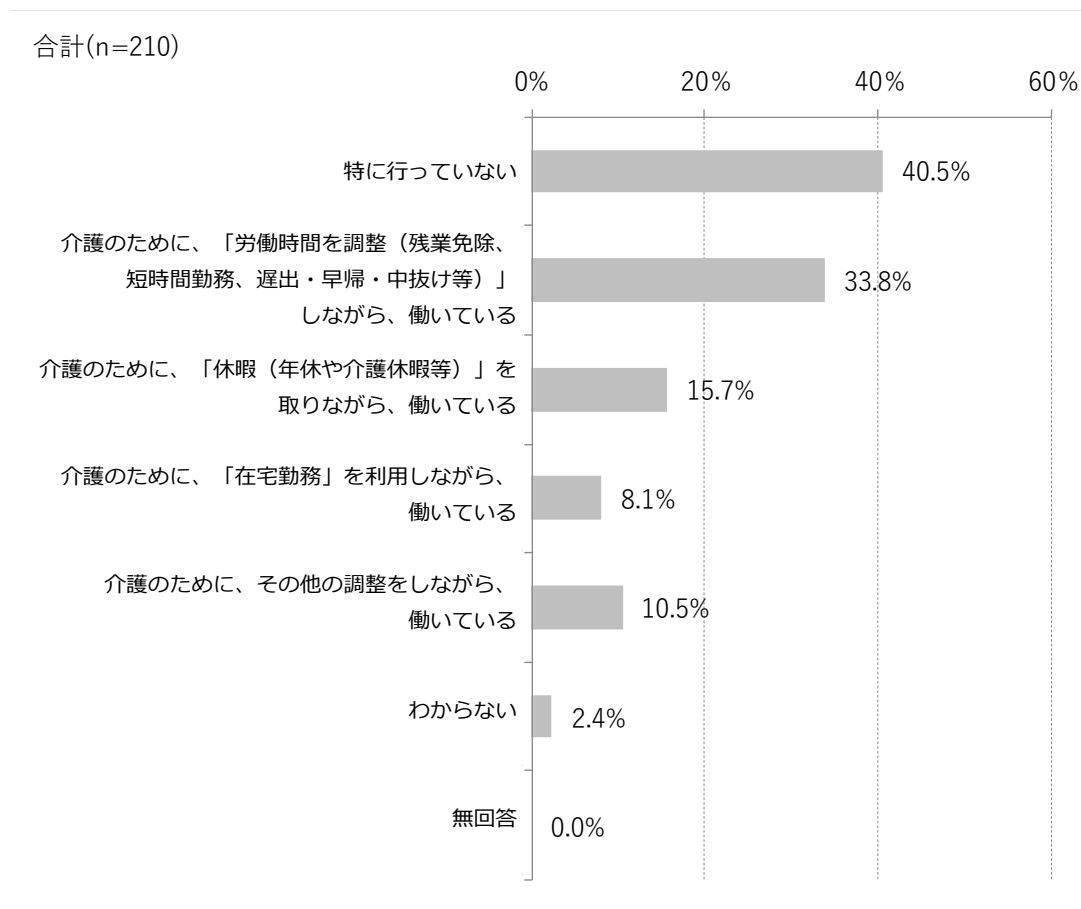
図表 304 【サービス利用の組み合わせ】



問12 問11で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

主な介護者の働き方の調整状況は、「特に行っていない」の割合が最も高く40.5%となっている。次いで、「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている（33.8%）」、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている（15.7%）」となっている。

図表 305 【主な介護者の方の働き方の調整状況】

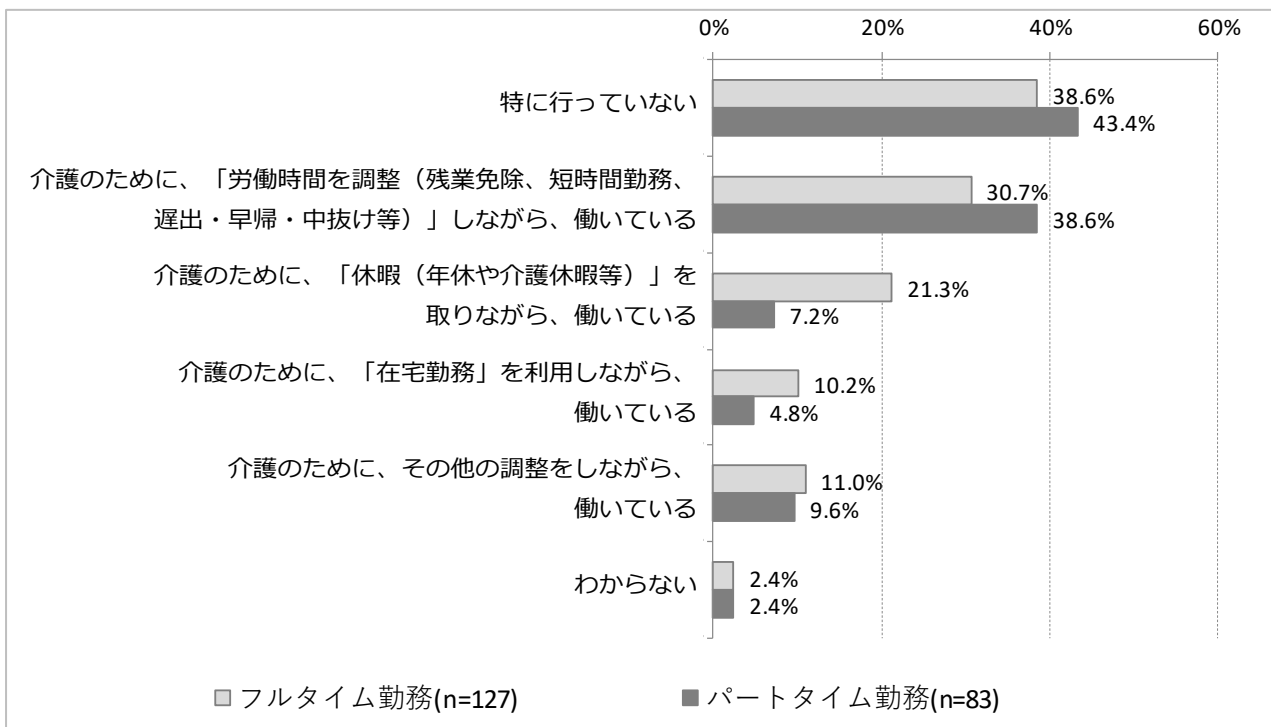


## V 在宅介護実態調査結果

就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が38.6%と最も割合が高く、次いで「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が30.7%、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が21.3%となっている。

「パートタイム勤務」では「特に行っていない」が43.4%と最も割合が高く、次いで「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が38.6%、「介護のために、その他の調整をしながら、働いている」が9.6%となっている。

図表 306【就労状況別 主な介護者の方の働き方の調整状況】

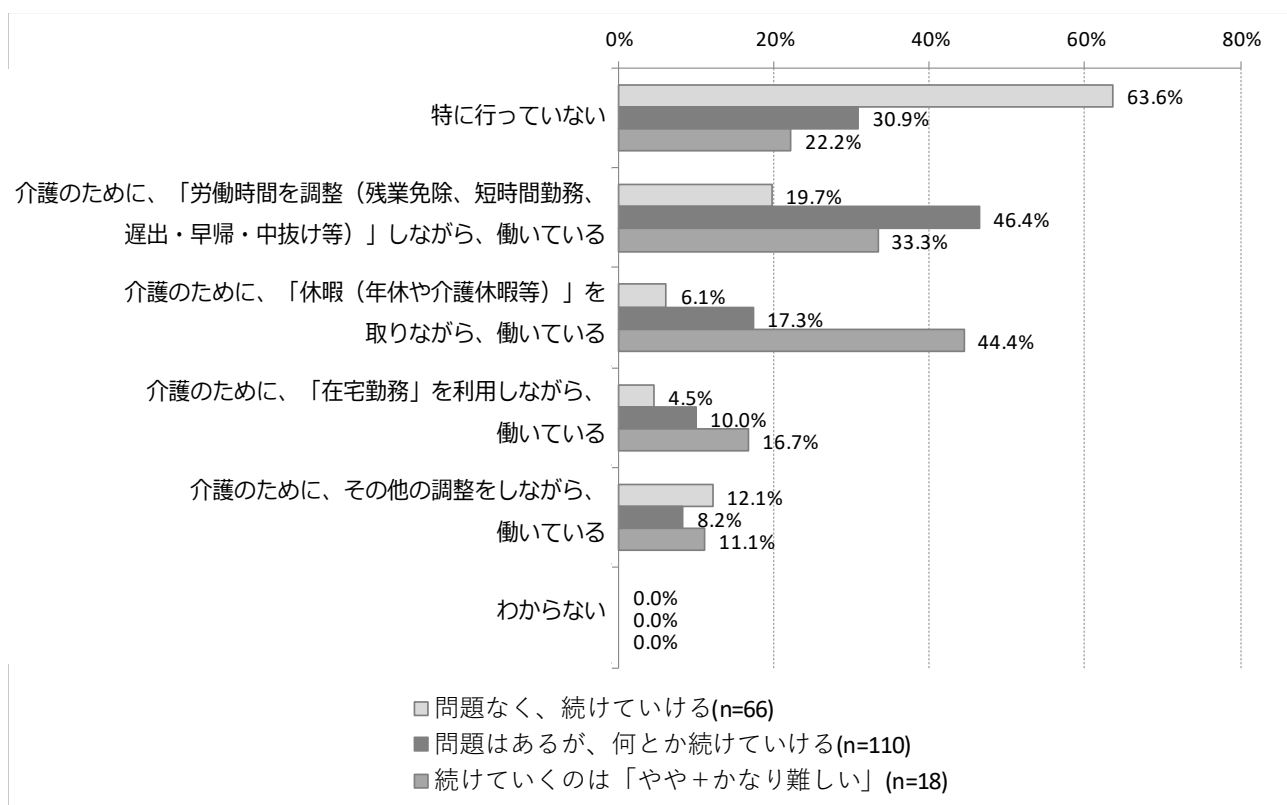


就労継続見込み別では、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が63.6%と最も割合が高く、次いで「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が19.7%、「介護のために、その他の調整をしながら、働いている」が12.1%となっている。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が46.4%と最も割合が高く、次いで「特に行っていない」が30.9%、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が17.3%となっている。

「続けていくのは『やや+かなり難しい』」では「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が44.4%と最も割合が高く、次いで「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が33.3%、「特に行っていない」が22.2%となっている。

図表 307 【就労継続見込み別 主な介護者の方の働き方の調整状況】

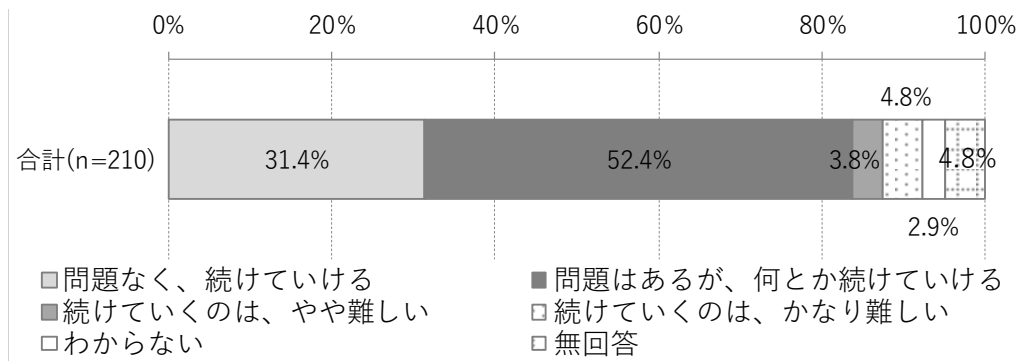


## V 在宅介護実態調査結果

問13 問11で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 52.4%、次いで「問題なく、続けていける（31.4%）」、「続けていくのは、かなり難しい（4.8%）」となっている。

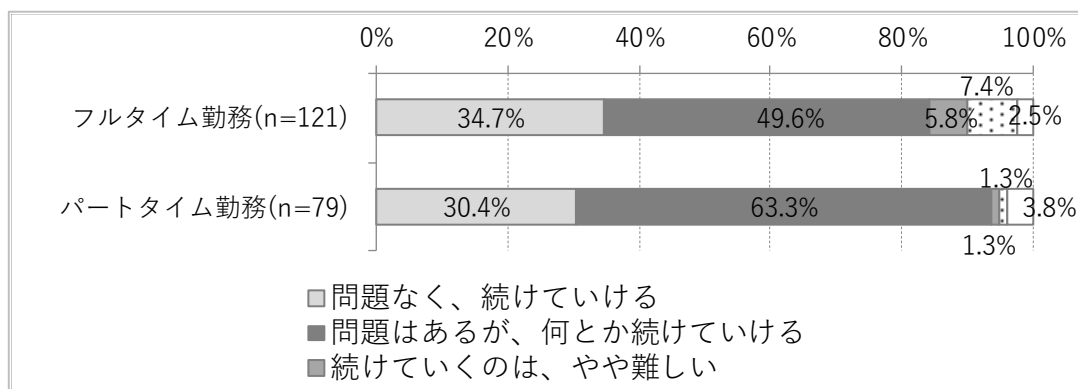
図表 308 【主な介護者の方の就労継続の可否にかかる意識】



主な介護者の就労状況別にみると、「フルタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 49.6%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 34.7%、「続けていくのは、かなり難しい」が 7.4%となっている。

「パートタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 63.3%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 30.4%、「わからない」が 3.8%となっている。

図表 309 【主な介護者の就労状況別 就労継続見込み】

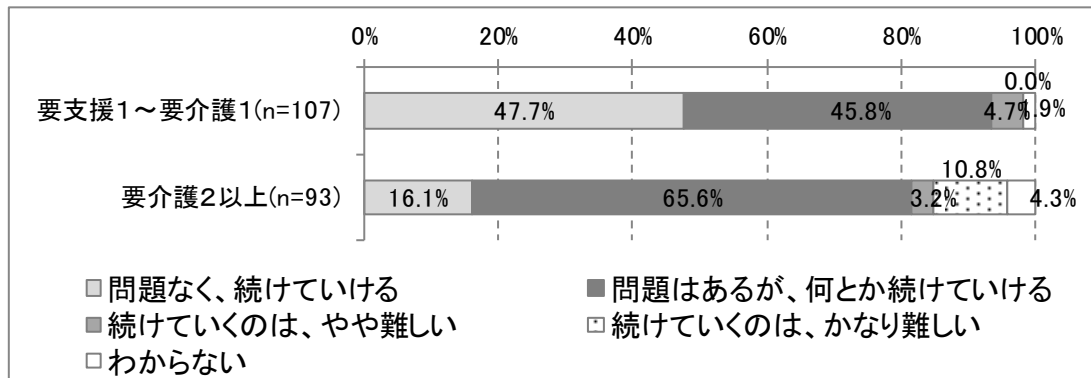




要介護度別にみると、「要支援1～要介護1」では「問題なく、続けていける」が47.7%と最も割合が高く、次いで「問題はあるが、何とか続けていける」が45.8%、「続けていくのは、やや難しい」が4.7%となっている。

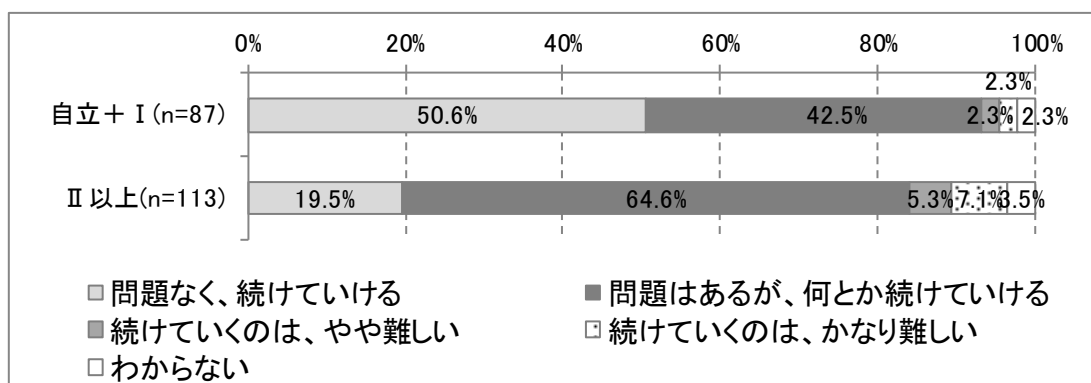
「要介護2以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が65.6%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が16.1%、「続けていくのは、かなり難しい」が10.8%となっている。

図表 310 【要介護度別 就労継続見込み】



認知症自立度別にみると、「自立+ I」では「問題なく、続けていける」が50.6%と最も割合が高く、次いで「問題はあるが、何とか続けていける」が42.5%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」、「わからない」が2.3%となっている。「II以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が64.6%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が19.5%、「続けていくのは、かなり難しい」が7.1%となっている。

図表 311 【認知症自立度別 就労継続見込み】

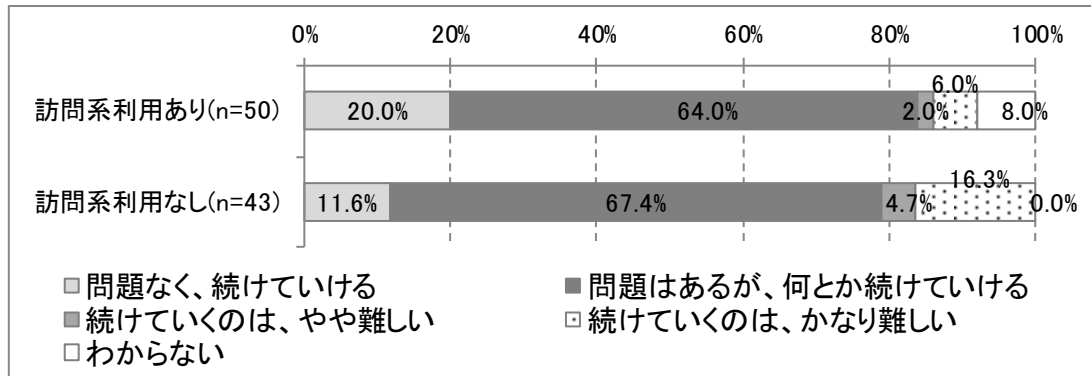


## V 在宅介護実態調査結果

要介護2以上、かつフルタイム勤務+パートタイム勤務の介護者について、今後の就労継続見込みを見ると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が64.0%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が20.0%、「わからない」が8.0%となっている。

「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が67.4%と最も割合が高く、次いで「続けていくのは、かなり難しい」が16.3%、「問題なく、続けていける」が11.6%となっている。

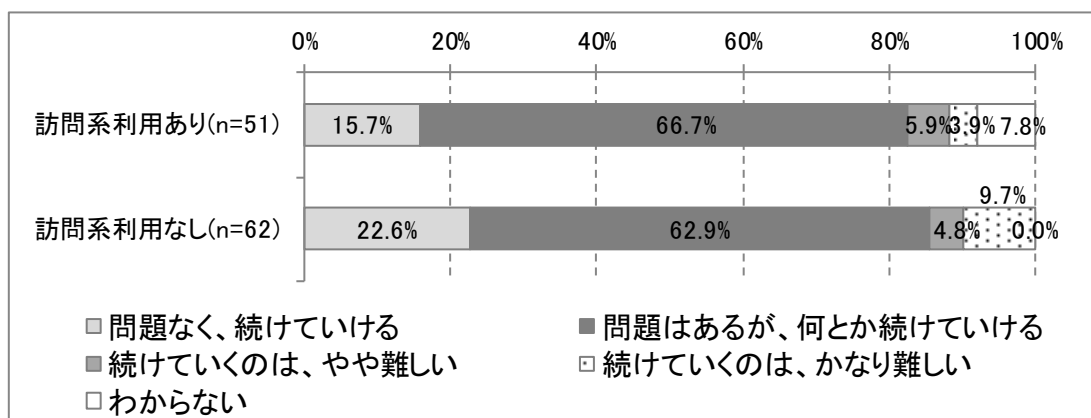
図表 312 【サービス利用の組み合わせ別 就労継続見込み  
(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)】



認知症自立度Ⅱ以上、かつフルタイム勤務+パートタイム勤務の介護者について、今後の就労継続見込みを見ると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が66.7%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が15.7%、「わからない」が7.8%となっている。

「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が62.9%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が22.6%、「続けていくのは、かなり難しい」が9.7%となっている。

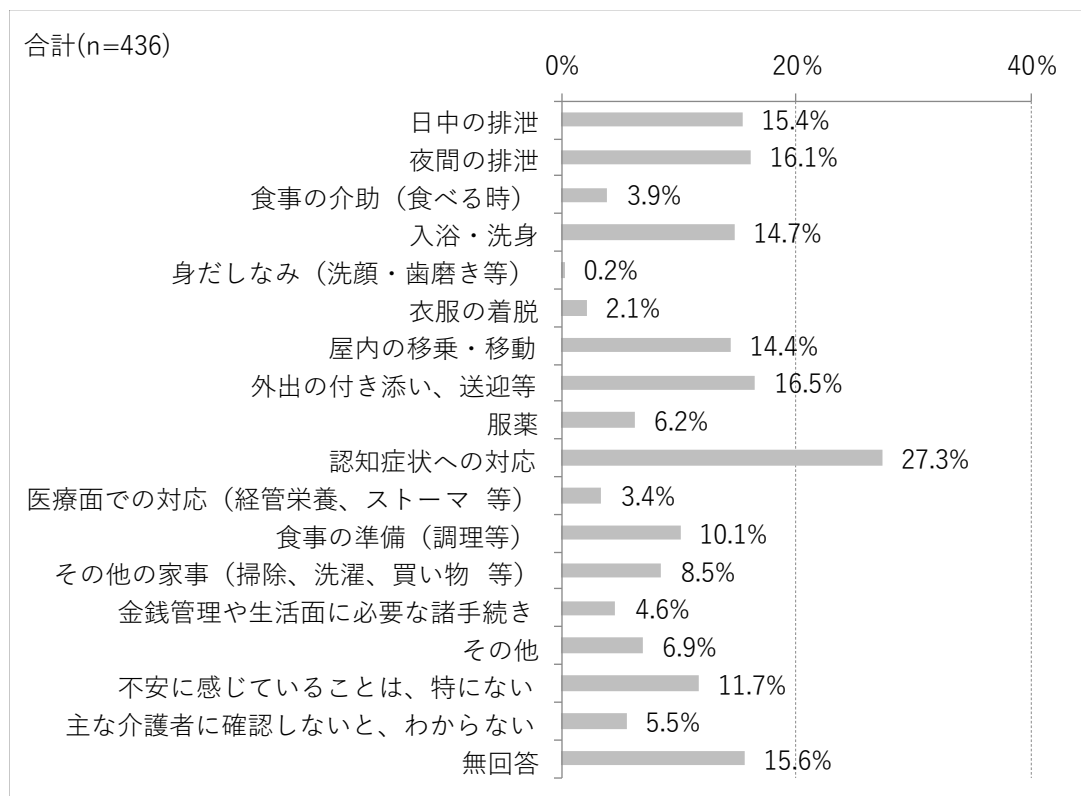
図表 313 【サービス利用の組み合わせ別 就労継続見込み  
(認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)】



問 14 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）。

「認知症状への対応」の割合が最も高く 27.3%、次いで「外出の付き添い、送迎等（16.5%）」、「夜間の排泄（16.1%）」、「日中の排泄（15.4%）」となっている。

図表 314 【在宅介護の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護】



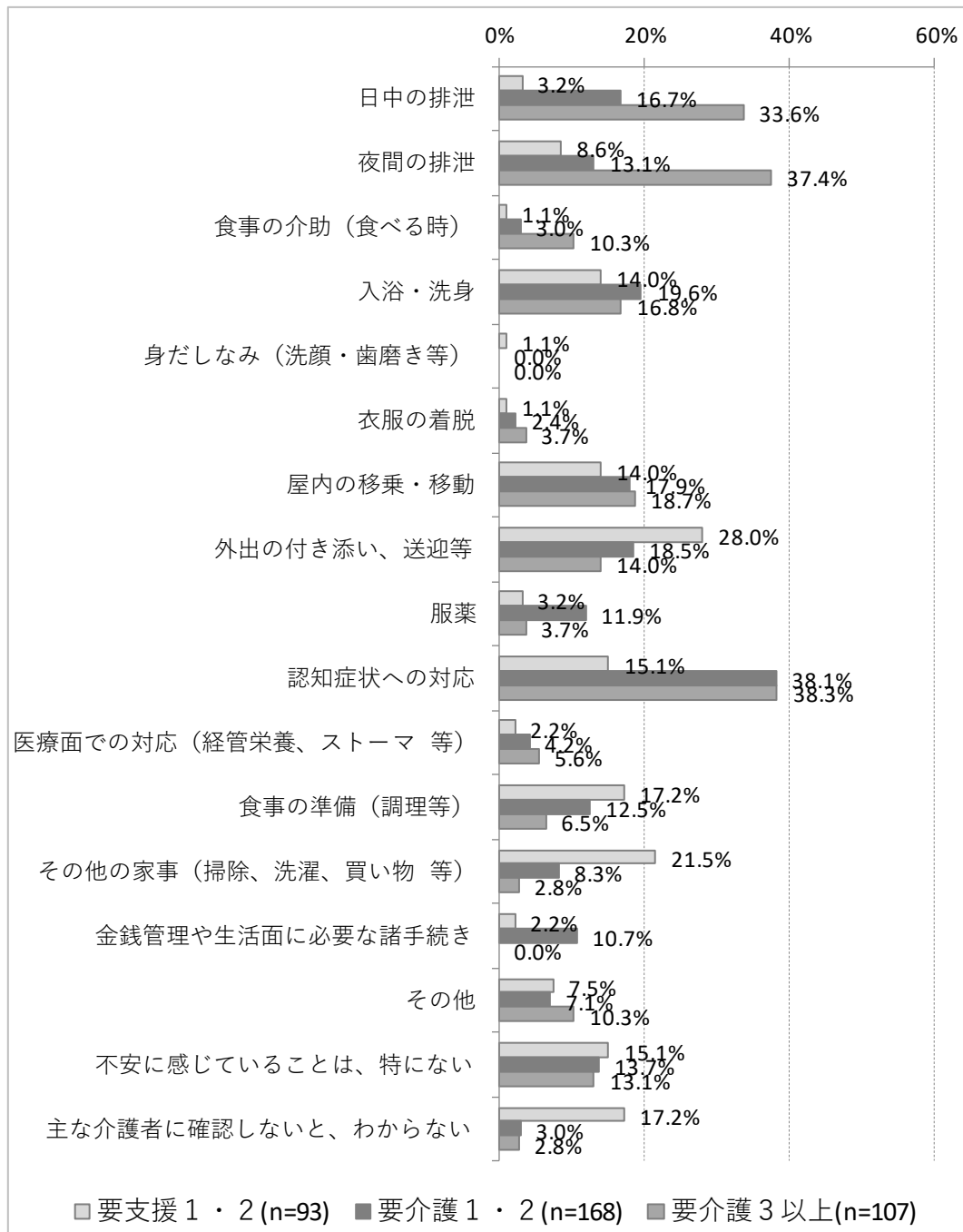
## V 在宅介護実態調査結果

要介護度別にみると、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が28.0%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が21.5%、「食事の準備（調理等）」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が17.2%となっている。

「要介護1・2」では「認知症状への対応」が38.1%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が19.6%、「外出の付き添い、送迎等」が18.5%となっている。

「要介護3以上」では「認知症状への対応」が38.3%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が37.4%、「日中の排泄」が33.6%となっている。

図表 315 【要介護度別 在宅介護の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護】

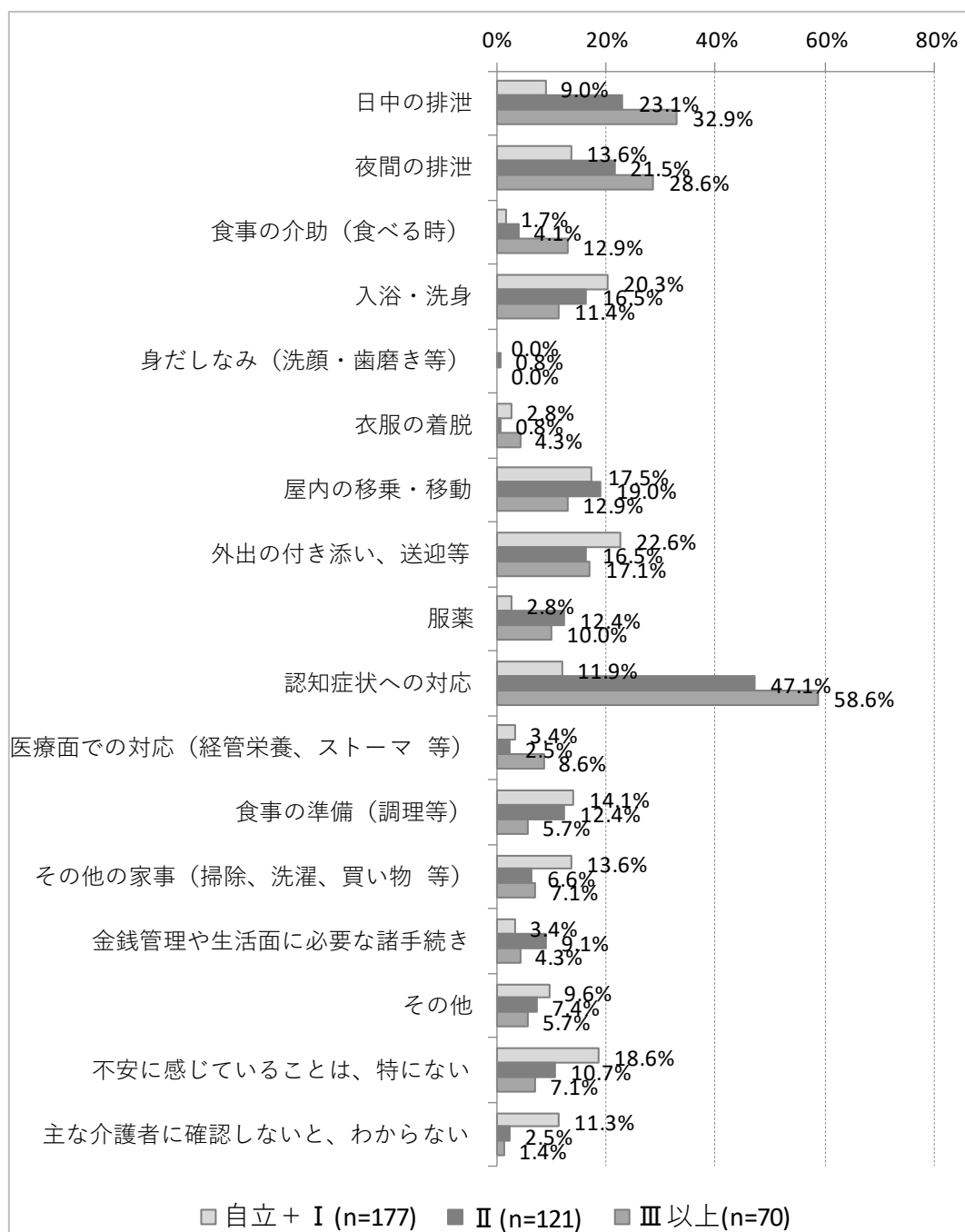


認知症自立度別にみると、「自立+ I」では「外出の付き添い、送迎等」が22.6%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が20.3%、「不安に感じていることは、特にない」が18.6%となっている。

「II」では「認知症状への対応」が47.1%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が23.1%、「夜間の排泄」が21.5%となっている。

「III以上」では「認知症状への対応」が58.6%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が32.9%、「夜間の排泄」が28.6%となっている。

図表 316 【認知症自立度別 在宅介護の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護】



## V 在宅介護実態調査結果

就労状況別及び就労継続見込み別では、「問題なく、続けていける」では「不安に感じていることは、特にない」が 21.3%と最も割合が高く、次いで「屋内の移乗・移動」が 19.7%、「入浴・洗身」が 16.4%となっている。

「問題はあるが、何とか続けていける」では「認知症状への対応」が 48.9%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が 27.3%、「入浴・洗身」が 23.9%となっている。

「続けていくのは『やや+かなり難しい』」では「認知症状への対応」が 57.1%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「服薬」が 35.7%、「屋内の移乗・移動」が 28.6%となっている。

図表 317 【認知症自立度別 在宅介護の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護】

